

2003 年度 工学部デザイン工学科 A コース (建築) (建築) 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TY017003	図学演習	2.0	1 年前期水曜 3 限	(田中 修一) 他	建築 3
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	建築 4
TY016004	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	福川 裕一	建築 5
TF063101	デザイン工学セミナー (建築系)	2.0	1 年通期水曜 1 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 6
TF129101	建築の構造	2.0	1 年前期月曜 4 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 6
TF064001	建築と人間の歴史	2.0	1 年前期月曜 5 限	玉井 哲雄	建築 7
TF129201	先端建築論 I	2.0	1 年前期水曜 6 限	(中田 捷夫) 他	建築 7
TF065101	世界建築史	2.0	1 年後期月曜 5 限	MORRIS MARTIN NORMAN	建築 8
TF066001	建築デザイン基礎	2.0	1 年後期水曜 3 限	(上垣内 伸一) 他	建築 8
TF129301	構造力学 I A	2.0	1 年後期月曜 3 限	高橋 徹	建築 9
TF129401	構造力学 I B	2.0	1 年後期月曜 3 限	上杉 英樹	建築 9
TF129701	構造力学演習 I A	2.0	1 年後期月曜 4 限	高橋 徹	建築 10
TF129801	構造力学演習 I B	2.0	1 年後期月曜 4 限	大山 宏	建築 10
TF069001	建築設計総合指導 I	2.0	2 年前期火曜 4 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 11
TF070001	建築エスキース I	2.0	2 年前期火曜 5 限	(松本 浩介)	建築 11
TF071001	室内環境計画 I	2.0	2 年前期月曜 1 限	宮田 紀元	建築 12
TF072001	室内環境計画演習	2.0	2 年前期月曜 2 限	宮田 紀元	建築 12
TF073001	建築設計学	2.0	2 年前期水曜 3 限	栗生 明	建築 13
TF074001	材料力学	2.0	2 年前期水曜 1 限	大山 宏	建築 14
TF075001	材料力学演習	2.0	2 年前期水曜 2 限	大山 宏	建築 15
TF076501	建築材料	2.0	2 年前期木曜 2 限	前田 孝一	建築 16
TF130001	先端建築論 II	2.0	2 年前期木曜 6 限	(山崎 雄介) 他	建築 16
TF077001	建築設計総合指導 II	2.0	2 年後期金曜 4 限	デ工 (建築系) 全教官 他	建築 16
TF078001	建築エスキース II	2.0	2 年後期金曜 5 限	(丸谷 博男) 他	建築 17
TF079101	都市環境デザイン	2.0	2 年後期月曜 5 限	北原 理雄	建築 17
TF080301	施設計画マネージメント総論	2.0	2 年後期月曜 3 限	服部 岑生	建築 18
TF080601	施設計画マネージメント演習	2.0	2 年後期月曜 4 限	服部 岑生	建築 18
TF081101	建築生産 I	2.0	2 年後期水曜 4 限	安藤 正雄	建築 19
TF083001	構造力学 II	2.0	2 年後期火曜 4 限	小谷 俊介	建築 19
TF084101	構造力学演習 II	2.0	2 年後期火曜 5 限	(北嶋 圭二) 他	建築 20
TF086001	構造設計 I	2.0	2 年後期水曜 5 限	(桜田 智之)	建築 20
TF087001	構造設計 III	2.0	2 年後期月曜 1 限	森田 耕次	建築 21
TF089001	構造設計演習 III	2.0	2 年後期月曜 2 限	森田 耕次	建築 21
TF131001	建築数学	2.0	2 年後期火曜 1 限	前田 孝一	建築 22
TF089501	建築設計プロセス I	1.0	2 年通期土曜 2 限 2 年後期土曜 2 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 22
TF088001	建築設計総合指導 III	2.0	3 年前期水曜 4 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 23
TF090001	建築エスキース III	2.0	3 年前期水曜 5 限	(渡辺 泰男)	建築 23
TF095101	建築保全再生史	2.0	3 年前期月曜 2 限	玉井 哲雄他	建築 24
TF097301	建築史野外実習	4.0	3 年前期集中	MORRIS MARTIN NORMAN	建築 24
TF098001	建築設備計画 I	2.0	3 年前期月曜 3,4 限隔週 1,3	(石渡 博)	建築 25
TF099001	室内環境計画 II	2.0	3 年前期木曜 4,5 限隔週 1,3	(石川 幸雄)	建築 25
TF100101	建築生産 II	2.0	3 年前期木曜 2 限	安藤 正雄	建築 26

2003 年度 工学部デザイン工学科 A コース (建築) (建築) シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF102301	建築材料実習	2.0	3 年前期火曜 3 限	前田 孝一 ^他	建築 26
TF103001	構造設計 II	2.0	3 年前期金曜 2 限	野口 博	建築 27
TF104001	構造設計演習 II	2.0	3 年前期金曜 3 限	野口 博 ^他	建築 28
TF121801	火災安全工学	2.0	3 年前期水曜 1 限	上杉 英樹	建築 28
TF121901	火災安全工学演習	2.0	3 年前期水曜 2 限	上杉 英樹 ^他	建築 29
TF132001	先端建築論 III	2.0	3 年前期金曜 6 限	(横堀 肇) ^他	建築 29
TF106001	建築設計総合指導 IV	2.0	3 年後期水曜 4 限	デ工 (建築系) 全教官 ^他	建築 30
TF108001	建築エスキース IV	2.0	3 年後期水曜 5 限	デ工 (建築系) 全教官 ^他	建築 30
TF091101	都市地域デザイン I	2.0	3 年後期火曜 2 限	福川 裕一	建築 31
TF110101	都市地域デザイン II	2.0	4 年前期火曜 2 限	福川 裕一	建築 31
TF111001	建築法規・行政	2.0	3 年後期木曜 5 限	(下川 幸一)	建築 32
TF112001	造園学	2.0	3 年後期金曜 2 限	赤坂 信	建築 32
TF092101	施設デザイン計画 I	2.0	3 年後期木曜 1 限	中山 茂樹	建築 33
TF093101	施設デザイン計画演習 I	2.0	3 年後期木曜 2 限	中山 茂樹	建築 33
TF117001	室内環境計画 III	2.0	3 年後期火曜 5 限	(秋田 剛)	建築 34
TF118001	建築設備計画 II	2.0	3 年後期金曜 5 限	(斎藤 満)	建築 34
TF119301	荷重外力論	1.0	3 年後期水曜 2 限前半	高橋 徹	建築 35
TF119401	構造耐力論	1.0	3 年後期水曜 2 限後半	高橋 徹	建築 35
TF120001	基礎地盤工学	2.0	3 年後期水曜 3 限	中井 正一	建築 36
TF121201	建築施工	2.0	3 年後期月曜 5 限	(清水 四郎)	建築 36
TF122001	構造実験	2.0	3 年後期火曜 3,4 限	原田 幸博 ^他	建築 37
TF121601	先端建築研究	2.0	3 年後期金曜 3 限 3 年後期金曜 4 限前半	服部 岑生 ^他	建築 37
TF122201	建築設計プロセス II	1.0	3 年通期土曜 2 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 38
TF121501	先端建築環境論	2.0	4 年前期月曜 6 限	(井上 隆)	建築 38
TF113101	施設デザイン計画 II	2.0	4 年前期月曜 3 限	柳澤 要	建築 38
TF114101	施設デザイン計画演習 II	2.0	4 年前期月曜 4 限	柳澤 要	建築 39
TF116101	近代建築史	2.0	4 年前期火曜 3 限	MORRIS MARTIN NORMAN ^他	建築 39
TF123101	振動工学・耐震設計	2.0	4 年前期木曜 1 限	小谷 俊介	建築 40
TF123301	振動工学・耐震設計演習	2.0	4 年前期木曜 2 限	小谷 俊介 ^他	建築 40
TF121701	建築生産設計	2.0	4 年前期金曜 3 限	安藤 正雄	建築 41
TF126101	建築構造デザイン	4.0	4 年前期金曜 4,5 限	(富島 誠司) ^他	建築 41
TF125201	卒業設計演習	2.0	4 年前期月曜 1,2 限	栗生 明 ^他	建築 42
TF127101	卒業論文演習	2.0	4 年前期水曜 4,5 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 42
TF129001	卒業設計	4.0	4 年後期木曜 3,4,5 限 4 年後期金曜 3,4,5 限	デ工 (建築系) 全教官 ^他	建築 42
TF128101	卒業論文	4.0	4 年後期木曜 3,4,5 限 4 年後期金曜 3,4,5 限	デ工 (建築系) 全教官	建築 43
TZ041001	日本工業概論	2.0	2 年前期木曜 5 限	東田 喜輔	建築 44
TZ042001	工業経営概論	2.0	2 年後期木曜 5 限	東田 喜輔	建築 45
TZ021001	応用数学 I	2.0	4 年前期集中	(今井 仁司)	建築 46
TG104001	アルゴリズムの設計と解析	2.0	3 年前期金曜 5 限	(小林 暁)	建築 47

授業科目名 : 図学演習
 科目英訳名 : Descriptive Geometry
 担当教官 : (田中 修一), 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C8

開講時限等: 1 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)

学科 コース	入学年度
T1:工業意匠 A	1997 年 専門基礎必修 (E10)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 製図の基礎となる図法を学び、実際に自分で作図して製図図法の理解を深める。

[講義目的] 製図用具の使用方法から始まり、デザインの思考展開および伝達手段として必要な 3 次元空間表示のための基礎的図法の理論の学習と演習を行う。

[講義内容] 線と文字の演習、平面図学、立体図学、正投影図法、等測図法、陰影図法、一消点透視図法、二消点透視図法、簡単な設計課題等

[キーワード] 図法

[履修条件] 製図用具が必要となる

[教科書・参考書] 建築とデザインのための図形科学、培風館。建築立体図法、技術書院

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 宮崎 清
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C1

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 「造形演習」の個々の課題には、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する演習である。

[講義目的] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学 = ものづくり」に対する関心を高め、その基礎的・潜在的資質が覚醒することを目的としている。具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2)多様な解の存在を認識する。(3)プレゼンテーション能力を培う。

[講義内容] (1)全体ガイダンスおよびクラス分け、第1課題:「鉛筆による精密描写」の説明、(2)第1課題の演習、(3)第1課題の演習、(4)第1課題の講評、(5)第2課題:「展開図に基づいた立体物の描写」、(6)第2課題の演習、(7)第2課題の講評、第3課題:「大学生活のなかで使う鞆の制作」の説明、(8)第3課題の演習、(9)第3課題の演習、(10)第3課題の講評、第4課題:「飛行体の造形」の説明、(11)第4課題の演習、(12)第4課題の演習、(13)第4課題の講評、(14)総合講評、(15)展示会

[キーワード] 観察・思索、デザイン、手汗想創、プレゼンテーション

授業科目名 : 造形演習
 科目英訳名 : Design Aesthetics(Lab.)
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C4

開講時限等: 1 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF:デザイン A	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TI:物質 A	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TI1:物質 A 化学 物質化学	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI2:物質 A 機能 物質機能				専門基礎選択 (E30)		
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門基礎選択必修 (E20)					

学科 コース	入学年度 1997 年
T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
T2:建築 A	専門基礎必修 (E10)
T3:機械 A	専門選択 (F30)
T5:電気電子 A	専門基礎必修 (E10)
T7:機能材料 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教官の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : デザイン工学セミナー (建築系)
 科目英訳名 : Seminar: Introduction to Design
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CD
 開講時限等: 1 年通期水曜 1 限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] デザイン工学科建築系における勉学の方式や態度、問題意識や関心の持ち方など、受講生と教官が一体となって思考する。具体的には、デザイン工学科建築系の各教育研究分野の教育研究内容についてセミナー形式の授業によって触れることにより、都市環境建築計画と建築構造設計の領域の基本的理解を求めるとともに、学生と教官のコミュニケーションの基盤の形成を促す。

[講義内容] 10 名程度のグループを編成し、それぞれのグループ単位で 1 教育研究分野につき 3~4 週間、合計 4 つの教育研究分野でのセミナー形式の授業を受講する。各教育研究分野での 3~4 週間のセミナーは、それぞれの分野の教育研究の特色に応じて計画される。

[キーワード]

[教科書・参考書] 特になし

[備考] 第 1 週にグループ分けを行う。後の日程は掲示されるのでそれに従うこと。

授業科目名 : 建築の構造
 科目英訳名 : Structure of Buildings
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F9
 開講時限等: 1 年前期月曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TE:都市環境					専門選択 (F30)		T1:工業意匠 A	専門選択 (F30)		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A		専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 建築構造物を構成する空間の成り立ちと構成材料の特徴、使われ方、構造物の将来像などについてオムニバス形式で講義する。

[講義目的] 建築物は必要とされる機能が満たされる空間を創出する構造物である。その構造はどのような形をもっているか、その形はどんな断面の部材がどう接合されて作られるのか、また、それに利用される構造材料にはどんなものがあるか、材料に要求される力学的性質は何か等々、これからの建築の設計を学習するに役立つ基本的な概念を学ぶ。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス、第 2 回 床を支える構造、第 3 回 屋根を支える構造、第 4 回 建物にかかる外力とそのモデル化、第 5 回 木質構造 1、第 6 回 木質構造 2、第 7 回 金属材料と鋼構造、第 8 回 鉄骨構造 1、第 9 回 鉄骨構造 2、第 10 回 コンクリート材料、第 11 回 鉄筋コンクリート構造 1、第 12 回 鉄筋コンクリート構造 2、第 13 回 構造の設計、第 14 回 構造の将来、第 15 回 最終試験

[キーワード] 構造, 材料, 外力, 生産

[受講対象] デザイン工学科建築系 1 年生

[教科書・参考書] 教科書「構造用教材」(日本建築学会編)・図説テキスト建築構造(彰国社)

授業科目名 : 建築と人間の歴史 (学部・放送大学開放科目)
 科目英訳名 : Architecture and Human History
 担当教官 : 玉井 哲雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B0
 開講時限等: 1 年前期月曜 5 限
 講義室 : 工 19 号棟 115 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1997 年 専門選択必修 (F20)
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境				専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	その他 (Z99)		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TG:電子機械 A			専門選択 (F30)					
TH:情報画像 A		専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TH1:情報画像 A 情報工学		専門選択 (F30)						
TH4:情報画像 A 画像システム工学				専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境 メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 日本建築史における重要な問題を取り上げる。古代～近世における寺院・神社および住宅・都市を素材とし、主にその文化的な側面を、東アジアおよびヨーロッパとの比較という観点も導入し、背景となる社会的な問題を視野に入れて論じることを目的とする。説明のためのプリントやスライドを必要に応じて用いる。建築以外の文化系学生の聴講も歓迎する。

[講義内容]

[キーワード]

[教科書・参考書] 教科書「日本建築史図集」(日本建築学会編・彰国社)。参考書「建築の歴史」(中央公論社)。

授業科目名 : 先端建築論 I
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies I
 担当教官 : (中田 捷夫), (村松 映一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0FA
 開講時限等: 1 年前期水曜 6 限
 講義室 : 工 2 号棟 102 教室, 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1997 年 専門必修 (F10)
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築を学ぶ者が、その学習と卒業後の進路を考えるための科目。第一線で活躍する建築技術者と設計者がその考え方、生き甲斐、学習の仕方、職業の様子などを紹介する。

[講義内容] 前半は主に構造システムの話。後半は建築計画設計の話になる予定。

[キーワード]

[履修条件] デザイン工学科建築系向けの必修科目で、他の系や学科の学生の履修はできない。

[教科書・参考書] 特になし

[備考] 他学科及び他系の学生の聴講は認めない。村松先生は水曜 5,6 限、工 2 号棟 102 教室でおこなう(詳細は先生の指示による)

授業科目名 : 世界建築史
 科目英訳名 : History of World Architecture
 担当教官 : MORRIS MARTIN NORMAN
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B1

開講時限等: 1年後期月曜5限
 講義室 : 工17号棟113教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 西洋を中心に、世界の様々な文化が作り上げた建築の歴史を古代文明の曙から18世紀中期まで紹介することを目的とする講義である。観点は基本的に様式的であり、それぞれの様式の特徴と相互関係の説明は中心となるが、建築と社会の発展段階の関係、建築創作プロセスの発展等、関連する主要な問題点を説明する意図もある。スライドやプリントを利用して説明する。

[講義内容] I、序論(建築史の可能性と意味、世界の様々な建築文化)、II、古代メソポタミアとエジプト、III、インド、東南アジア、アメリカ、IV、古代ギリシャの都市、V、古代ギリシャの神殿建築とオーダーの概念、VI、古代ローマの建築、VII、初期キリスト教建築とビザンティン建築、VIII、イスラム建築、IX、ロマネスク建築、X、ゴシック建築、XI、イタリアにおけるルネサンス建築の出現、XII、イタリアにおけるルネサンス建築の発展、XIII、ヨーロッパ各地におけるルネサンス建築(1)、XIV、ヨーロッパ各地におけるルネサンス建築(2)、XV、中世と近世における集落・都市と居住形態

[キーワード]

[教科書・参考書] 参考書:「西洋建築史図集」(日本建築学会編、彰国社刊)、「東洋建築史図集」(日本建築学会編、彰国社刊)、「ヨーロッパ建築史」、西田雅嗣編、昭和堂、1998

授業科目名 : 建築デザイン基礎
 科目英訳名 : Basic Architectural Design
 担当教官 : (上垣内 伸一)、田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B2

開講時限等: 1年後期水曜3限
 講義室 : 工10-412製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		T2:建築 A	専門必修 (F10)
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		

[授業の方法] 演習

[講義概要] 建築の設計図面の読解や設計が出来るように、RC造、木造、鉄骨造建物のコピーをする。また、後半には簡単な自由設計も課す。

[講義目的] 図学演習にひき続きドローイングの技法と理論についてレクチャーと基礎的なトレーニングを行い、近現代建築ケースとして図面表現を学習する。

[講義内容] 鉄筋コンクリート造、木造建築などの施工図が理解出来るよう事例をコピーさせる。最終課題として自由設計も出題している。

[キーワード] 設計基礎、コピー

[教科書・参考書] 建築設計製図(実教出版)

授業科目名 : 構造力学 I A
 科目英訳名 : Structural Mechanics IA
 担当教官 : 高橋 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0FB
 開講時限等: 1 年後期月曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)		T2:建築 A	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		
TG:電子機械 A					専門選択必修 (F20)			

[授業の方法] 講義

[講義概要] 建築構造物を設計するための入り口にあたる授業として、静定構造物を取り上げ、それらにかかる荷重・外力のモデル化と構造物に生じる応力や変形状態について概説する。

[講義目的] 建築物にはそれ自身の重量と積載物の重量の他に、積雪による重量と風圧力さらには地震などによる外力と外乱が作用する。これらに対して安全な構造物を作るため、柱や梁にどのような力が作用して、どのように変形するかを知るための力学すなわち構造力学を学習する。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス、構造力学の必要性、第 2 回 外力と構造物のモデル化、第 3 回 構造物を支える力、第 4 回 断面に働く力 1 (軸力)、第 5 回 トラス構造物 1、第 6 回 トラス構造物 2、第 7 回 断面に働く力 2 (せん断力と曲げモーメント)、第 8 回 梁にかかる力 1、第 9 回 中間試験、第 10 回 梁にかかる力 2、第 11 回 梁にかかる力 3、第 12 回 静定フレーム 1、第 13 回 静定フレーム 2、第 14 回 静定フレーム 3、第 15 回 期末試験

[キーワード] 外力、静定構造物、応力、梁、軸力、せん断力、曲げモーメント

[受講対象] デザイン工学科建築系 1 年生

[履修条件] 構造力学 IA と構造演習 IA は一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造力学 IB・構造演習 IB と同一であるので、構造力学 IB・構造演習 IB の履修は不要である。

[教科書・参考書] 構造力学向けの教科書は多数販売されているので、講義がある程度進行してから書店で手にとって確かめるのが望ましい。

[関連科目] 建築の構造、構造力学演習 IA

[備考] IA と IB のクラス分けは名簿に従い、年度当初に発表する。

授業科目名 : 構造力学 I B
 科目英訳名 : Structural Mechanics IB
 担当教官 : 上杉 英樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0FC
 開講時限等: 1 年後期月曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 力の釣合によって、外力を受ける建築物の支点反力と柱・梁などに生じる内力を知ることにある。

[講義内容] 第 1 回: 講義概要・建築構造の形と単純化・構造三原則・外力と耐力 第 2 回: 力と矢印・一点に作用する力の合成分解・幾つかの点に作用する力の合成 第 3 回: 平行な力の合成・示力図と連力図・偶力 第 4 回: 偶力・力のモーメント (回転力)・力の平行移動・力の釣合式 第 5 回: 梁材・片持ち梁・曲げモーメントと剪断力と荷重の関係・変形・曲率 第 6 回: 梁材・単純梁・曲げモーメントと剪断力と荷重の関係・変形・曲率 第 7 回: 骨組・門型ラーメン・曲げモーメント・剪断力・軸力 第 8 回: 骨組・三ピン構造・曲げモーメント・剪断力・軸力 第 9 回: トラス架構・ピン節点・ピン支点・軸力のみ 第 10 回: 中間試験 第 11 回: トラス架構・King-Post・ゼロ部材 第 12 回: トラス架構の示力図による解法 (Cremona の図解法) 第 13 回: トラス架構の示力図による解法 (Ritter の切断法) 第 14 回: トラス架構の変形 (Williot の方法, 仮想仕事法) 第 15 回: 期末試験

[キーワード] 力の釣合い, ラーメン, トラス

[履修条件] 構造力学 IB と構造演習 IB は一体であり、両者の受講を原則とする。

[教科書・参考書] 参考書: 田中, 高梨, 宇田川: 建築骨組の力学 (基礎編), 東洋書店: ¥ 2680

[備考] [蛇足] 直感 (ヤマ勘) が先。絵を描く。図が先。式は後。コンピューターを見抜け! 鉛筆を動かす事、即ち、帳面を汚す事。

授業科目名 : 構造力学演習 I A
 科目英訳名 : Seminar on Structural Mechanics IB
 担当教官 : 高橋 徹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード:
 開講時限等: 1 年後期月曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 力の釣合い式を用いて、建築物を支える柱・梁に生ずる応力と柱・梁の限界耐力に対する理解を深める。

[講義内容] 構造力学 IA で学習した内容について、練習問題を解き小レポートにまとめることで理解を深める。

[キーワード]

[履修条件] 構造力学 IA と構造演習 IA は一体のものであり、両者の受講を原則とする。なお、本科目は構造演習 IB と同一であるので、構造演習 IB の履修は不要である。

[教科書・参考書] 教科書: 基礎シリーズ 建築構造力学入門, 藤本盛久, 和田章 監修, 実教出版

[備考] 毎時間ごとの小レポート (A4 版用紙 1 枚) の提出をもって出席とする (6 割以上の小レポートの提出が単位認定の最低条件である)。本演習には、A4 版レポート用紙、簡単な数値計算のできるもの (関数電卓やポケットコンピュータなど) を必ず持参すること。

授業科目名 : 構造力学演習 I B
 科目英訳名 : Seminar on Structural Mechanics IB
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード:
 開講時限等: 1 年後期月曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 力の釣合によって、外力を受ける建築物の支点反力と柱・梁などに生じる内力を知ることにある。

[講義内容] 第 1 回: 講義概要・建築構造の形と単純化・構造三原則・外力と耐力 第 2 回: 力と矢印・一点に作用する力の合成分解・幾つかの点に作用する力の合成 第 3 回: 平行な力の合成・示力図と連力図・偶力
 第 4 回: 偶力・力のモーメント (回転力)・力の平行移動・力の釣合式 第 5 回: 梁材・片持ち梁・曲げモーメントと剪断力と荷重の関係・変形・曲率 第 6 回: 梁材・単純梁・曲げモーメントと剪断力と荷重の関係・変形・曲率 第 7 回: 骨組・門型ラーメン・曲げモーメント・剪断力・軸力 第 8 回: 骨組・三ピン構造・曲げモーメント・剪断力・軸力 第 9 回: トラス架構・ピン節点・ピン支点・軸力のみ 第 10 回: 中間試験の解答 第 11 回: トラス架構・King-Post・ゼロ部材 第 12 回: トラス架構の示力図による解法 (Cremona の図解法) 第 13 回: トラス架構の示力図による解法 (Ritter の切断法) 第 14 回: トラス架構の変形 (Williot の方法, 仮想仕事法) 第 15 回: 期末試験の解答

[キーワード]

[履修条件] 構造力学 IB と構造演習 IB は一体であり、両者の受講を原則とする。

[教科書・参考書] 参考書: 田中, 高梨, 宇田川: 建築骨組の力学 (基礎編), 東洋書店: ¥2680

[備考] [蛇足] 直感 (ヤマ勘) が先。絵を描く。図が先。式は後。コンピューターを見抜け! 鉛筆を動かす事、即ち、帳面を汚す事。

授業科目名 : 建築設計総合指導 I
 科目英訳名 : Architectural Design I
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B3

開講時限等: 2 年前期火曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)		T2:建築 A	1996 年 専門必修 (F10)
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 初歩的な設計課題について建築的な発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーを行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 図学演習、建築デザイン基礎を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース I
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design I
 担当教官 : (松本 浩介)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B4

開講時限等: 2 年前期火曜 5 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)		T2:建築 A	1996 年 専門必修 (F10)
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)		

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 初歩的な設計課題について建築的な発想を育て、構想し、まとめあげていく方法を学ぶためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 I と同時に履修すること。

授業科目名 : 室内環境計画 I
 科目英訳名 : Interior Design I
 担当教官 : 宮田 紀元
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B5

開講時限等: 2 年前期月曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1995 年 専門選択必修 (F20)
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境					専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)			
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)		
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 室内環境に係わる計画のいくつかの側面を対象に、理論的な知識の理解を深める。多くの場合、1つの課題に対し2時限を費やし、テーマに関する建築的な意味合い、基礎的な知識、計画方法などを解説する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[教科書・参考書] 特になし。演習のための資料、用紙などを配布する。

授業科目名 : 室内環境計画演習
 科目英訳名 : Seminar on Interior Planning
 担当教官 : 宮田 紀元
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B6

開講時限等: 2 年前期月曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1995 年 専門選択 (F30)
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)		T2:建築 A	
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 室内環境に係わる計画のいくつかの側面を対象に、模擬的な計画作業を体験して、理論的な知識の理解を深める。多くの場合、1つの課題に対し2時限を費やし、課題に関する建築的な意味合い、基礎的な知識、計画方法などを解説した後、演習を実施する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[教科書・参考書] 特になし 演習のための資料、用紙などを配布する

授業科目名 : 建築設計学
 科目英訳名 : Architectural Design Method
 担当教官 : 栗生 明
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B7

開講時限等: 2 年前期水曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ				専門選択 (F30)		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T1:工業意匠 A	専門選択 (F30)		
T2:建築 A		専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 我々をとりまくソフト・ハードの環境全体をどうデザインするのか、さまざまなデザイン要素を抽出し、内外の事例を紹介しながら解説する。講義にはスライドを使用し、簡易な課題を出す。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 材料力学
 科目英訳名 : Strength of Materials
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B8
 開講時限等: 2 年前期水曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TE:都市環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門必修 (F10)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)				

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 構造力学 I では、単純構造物の反力、応力 (軸力、曲げモーメント、剪断力) を力の釣り合いから求めた。引き続き、材料力学では、応力により生ずる変形を考慮し、構造部材の断面内の応力度分布、構造物の変形などの基礎を主題とする。これらを基礎にして、構造力学 II では、より実用的な骨組構造物の解析手法が与えられる。

[講義内容] 第 1 回 材料力学の基礎概念: 基本仮定・伸び・縦歪・横歪・曲げ・垂直歪・剪断歪 第 2 回 歪と応力: 軸力・曲げモーメント・剪断力・垂直応力・剪断応力・モールの応力円 第 3 回 断面の特性係数 (1): 断面 1 次モーメント・重心・断面 2 次モーメント・平行軸定理・断面係数 第 4 回 断面の特性係数 (2): 断面極 2 次モーメント・断面 2 次半径・断面相乗モーメント・断面主軸・モールの慣性円 第 5 回 材料の力学的性質: 応力-歪図・弾性限・降伏点・引張強さ・弾性係数・ヤング係数・剪断弾性係数・ポアソン比
 第 6 回 各種の応力を受ける材 (1): 断面内の垂直応力分布・軸力・曲げモーメント・応力の組み合わせ
 第 7 回 各種の応力を受ける材 (2): 断面内の剪断応力分布・長方形断面・円形断面・薄肉断面・H 形断面
 第 8 回 < 中間試験 > 受験条件: なし。(解答レポート提出。) (教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。) 第 9 回 梁の変形 (1): 撓み曲線式・弾性曲線式・共役梁法・弾性荷重法・モールの定理 第 10 回 梁の変形 (2): ミオソチスの片持梁公式の誘導・応用
 第 11 回 梁の変形 (3): 不静定梁・一端固定 + 他端ローラー・両端固定・連続梁 第 12 回 静定トラスの応力と変形: クレモナ図・ウィロー変位図・モール回転変位図 第 13 回 静定ラーメンの応力と変形: ミオソチスの片持梁公式の応用 第 14 回 曲線材: アーチ梁・曲がり梁 第 15 回 < 試験 > 受験条件: なし。(後日、解答レポート提出。) (教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。) < 演習ノート提出 > 試験終了後に回収。後日返却。 第 16 回 < 追試 1 > 受験条件: なし。(なお、この時点では成績評価未了。) 第 17 回 < 追試 2 > 受験条件: 前回まで試験の完全解答レポートの事前提出。

[キーワード]

[履修条件] 無

[教科書・参考書] [教科書] 嶋本恒雄 / 相川三郎 編「建築学小事典 第 4 版」理工学社 1994 ¥3000+ : 本書では、基本的で実用的な解法・例題などを順を追って丁寧に説明している。講義・演習では、根拠・誘導を十分説明し、学生の納得の行くまで質疑応答したい。この講義・演習での利用範囲は、わずかに (p. 3 - 8) ~ (p. 3 - 39) である。 [参考書] 高橋幸伯・町田進 共著「基礎 | 材料力学 改訂版」培風館 1999 ¥2500+ : 本書の初版は、10年間、教科書として用いた。せめて序文くらいは覗いてみてほしい。本書では、ところどころに建築実務と異なる表現がある。その点は注意して読んでほしい。

[備考] [演習ノート] 大学ノート (B5 判): 演習の評価資料。試験後提出。後日返却。ルースリーフ式・スパイラル綴じ式のノートは望ましくない。 [教材] プラスチック定規 2 本 (長さ 20 cm 程度のもの): 単独あるいは貼り合わせて「曲げを加えて梁の変形、軸を押して柱の座屈」を実感しよう。 [電卓] 数式処理・グラフ関数電卓 (TI 92, HP 49, Casio, Sharp など): 数学の苦手意識を克服するために電卓を使い、数学を勉学・遊びの道具にしよう。

授業科目名 : 材料力学演習
 科目英訳名 : Seminar on Strength of Materials
 担当教官 : 大山 宏
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0B9
 開講時限等: 2 年前期水曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
学科 コース	入学年度					
	1997 年	1996 年	1995 年			
T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 構造力学 I では、簡単構造物の反力、応力 (軸力、曲げモーメント、剪断力) を力の釣り合いから求めた。引き続き、材料力学では、応力により生ずる変形を考慮し、構造部材の断面内の応力度分布、構造物の変形などの基礎を主題とする。これらを基礎にして、構造力学 II では、より実用的な骨組構造物の解析手法が与えられる。

[講義内容] 第 1 回 材料力学の基礎概念: 基本仮定・伸び・縦歪・横歪・曲げ・垂直歪・剪断歪 第 2 回 歪と応力: 軸力・曲げモーメント・剪断力・垂直応力・剪断応力・モールの応力円 第 3 回 断面の特性係数 (1): 断面 1 次モーメント・重心・断面 2 次モーメント・平行軸定理・断面係数 第 4 回 断面の特性係数 (2): 断面極 2 次モーメント・断面 2 次半径・断面相乗モーメント・断面主軸・モールの慣性円 第 5 回 材料の力学的性質: 応力-歪図・弾性限・降伏点・引張強さ・弾性係数・ヤング係数・剪断弾性係数・ポアソン比
 第 6 回 各種の応力を受ける材 (1): 断面内の垂直応力分布・軸力・曲げモーメント・応力の組み合わせ
 第 7 回 各種の応力を受ける材 (2): 断面内の剪断応力分布・長方形断面・円形断面・薄肉断面・H 形断面
 第 8 回 < 中間試験 > 受験条件: なし。(解答レポート提出。)(教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。)
 第 9 回 梁の変形 (1): 撓み曲線式・弾性曲線式・共役梁法・弾性荷重法・モールの定理 第 10 回 梁の変形 (2): ミオソチスの片持梁公式の誘導・応用 第 11 回 梁の変形 (3): 不静定梁・一端固定 + 他端ローラー・両端固定・連続梁 第 12 回 静定トラスの応力と変形: クレモナ図・ウィロー変位図・モール回転変位図 第 13 回 静定ラーメンの応力と変形: ミオソチスの片持梁公式の応用 第 14 回 曲線材: アーチ梁・曲がり梁 第 15 回 < 試験 > 受験条件: なし。(後日、解答レポート提出。)(教科書・参考書・ノート・電卓などの参照を許す。ただし共同利用厳禁。)

[キーワード]

[履修条件] 無

[教科書・参考書] [教科書] 嶋本恒雄 / 相川三郎 編「建築学小事典 第 4 版」理工学社 1994 ¥3000+ : 本書では、基本的で実用的な解法・例題などを順を追って丁寧に説明している。講義・演習では、根拠・誘導を十分説明し、学生の納得の行くまで質疑応答したい。この講義・演習での利用範囲は、わずかに (p. 3 - 8) ~ (p. 3 - 39) である。 [参考書] 高橋幸伯・町田進 共著「基礎 | 材料力学 改訂版」培風館 1999 ¥2500+ : 本書の初版は、10 年間、教科書として用いた。せめて序文くらいは覗いてみてほしい。本書では、ところどころに建築実務と異なる表現がある。その点は注意して読んでほしい。

[備考] [演習ノート] 大学ノート (B5 判): 演習の評価資料。試験後提出。後日返却。ルースリーフ式・スパイラル綴じ式のノートは望ましくない。 [教材] プラスチック定規 2 本 (長さ 20 cm 程度のもの): 単独あるいは貼り合わせて「曲げを加えて梁の変形、軸を押して柱の座屈」を実感しよう。 [電卓] 数式処理・グラフ関数電卓 (TI 92, HP 49, Casio, Sharp など): 数学の苦手意識を克服するために電卓を使い、数学を勉強・遊びの道具にしよう。

授業科目名 : 建築材料
 科目英訳名 : Building Materials
 担当教官 : 前田 孝一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BA
 開講時限等: 2 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TF:都市環境					専門選択 (F30)		T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 構造材料としてのコンクリートについて、知識を習得する事を目的とする。

[講義内容] 構造材料としてのコンクリートについて、その構成材としてのセメント、骨材、混和材料、まだ固まらないコンクリートの性質、硬化したコンクリートの強度、弾性、塑性、粘性、収縮等の力学的性質、コンクリート構造物の耐久性について学ぶ。

[キーワード]

[履修条件] なし

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 先端建築論 II
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies II
 担当教官 : (山崎 雄介), (大野 勝彦)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0FF
 開講時限等: 2 年前期木曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築生産・建築技術分野をリードする技術者・研究者が、実務の世界を概説し、技術開発の最先端を紹介する。講義内容は、ハウジング、外装デザイン、建築生産と情報化の3つからなる。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 他学科及び他系の学生の聴講は認めない。

授業科目名 : 建築設計総合指導 II
 科目英訳名 : Architectural Design II
 担当教官 : デ工(建築系)全教官, 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BB
 開講時限等: 2 年後期金曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築設計総合指導 I に引き続き建築を構想、企画し、計画を定め建築として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのレクチャーを行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 I を履修していること

授業科目名 : 建築エスキース II
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design II
 担当教官 : (丸谷 博男), 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BC
 開講時限等: 2 年後期金曜 5 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築設計総合指導 I に引き続き建築を構想、企画し、計画を定め建築として総合的にまとめあげていく方法を学ぶためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 II と同時に履修すること

授業科目名 : 都市環境デザイン
 科目英訳名 : Urban Environment Design
 担当教官 : 北原 理雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BD
 開講時限等: 2 年後期月曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 都市空間の解読方法、およびその計画・デザインに関わる基本的アプローチを講義し、レポート課題で都市空間の把握・分析に取り組む。

[講義目的] 人々の生活の場である都市環境を的確に読み解き、そのあるべき姿を構想する力を身につけてもらうことが、この講義の目的である。都市空間のさまざまな特性と社会との相関、それをなりたたせている仕組みなどを、具体的な事例にもとづいて考察する。

[講義内容] 1. 建築と都市空間 (街並みをつくる建築, 都市の広場, 二つの都市空間, 見える秩序/見えない秩序)
 2. 住まいと都市空間 (環境を内包する住まい, 共通性と柔軟性, 街並みと住まい) 3. 都市の骨格 (都市空間の計画方法, 都市空間の骨格と中身, 柔軟な骨格) 4. 広場と街路 (広場の伝統, 街路の文化, 人間のための都市空間) 5. 視覚空間と位相空間 (地形原理と幾何学原理, 位相空間の原理, 生きられる場所)

[キーワード] 都市空間, 都市景観, 街並み, 街路, 広場

[受講対象] 建築と都市空間の関わりに関心を持ち、その計画・デザインの方法を探りたいと考えている学生。

[履修条件] 空間の把握・図面表現に関する基礎的演習科目を履修していること。

[教科書・参考書] S. E. ラスムッセン: 都市と建築, 東京大学出版会 (参考書) G. カレン: 都市の景観, 鹿島出版会 (参考書) J. ゲール: 屋外空間の生活とデザイン, 鹿島出版会 (参考書)

[関連科目] 都市地域デザイン I

[備考] レポートと出席を主体に成績評価を行う (水準に達しないレポートは再提出)。

授業科目名 : 施設計画マネジメント総論
 科目英訳名 : Principle of Facility Design Management
 担当教官 : 服部 岑生
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BE
 開講時限等: 2年後期月曜3限
 講義室 : 工15号棟110教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	その他 (Z99)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築を作っていくためには、建築が人々にサービスを提供する施設であることを理解することが大切である。施設として建築をみると、すばらしい市民センターの建築の形も、市民に親しまれるその意味を表現しているかどうかとか、病院であれば衛生を保てるような病院の環境が作られているかどうか、気になってくる。造形でなくサービスという見方で建築とそのデザインを理解していくために、基本の知識を講義する。建築の役割を理解し、計画とその過程をマネージする基礎となる内容である。

[講義内容] (1) 施設としての建築の考え方、(2) どのような施設があるか、(3) 施設づくりのいろいろな条件、(4) 建築のデザインと施設デザインの関係、(5) 施設計画とマネジメントの技術の体系、(6) 施設デザインのプロセスと方法、(7) 施設としてみた建築設計のプロセスなどについて、講義する。以上によって、建築の造形を創造しデザインすることは、実は、建築にかかわる人々が求める施設のサービスをいかによくすることであるかが理解できる。また、施設計画の本質的な技術を総合的に学ぶことができ、実際に活用する基本となるであろう。

[キーワード]

[履修条件] 並行して開講される施設計画マネジメント演習を履修し、授業内容を身につけたもののみ試験を受けることができる。

[教科書・参考書] 教科書：建築デザイン計画（朝倉書店、2002年夏出版）参考書：新訂建築計画（朝倉書店）、新建築学大系23建築計画（彰国社）

授業科目名 : 施設計画マネジメント演習
 科目英訳名 : Exercise of Facility Design Management
 担当教官 : 服部 岑生
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0BF
 開講時限等: 2年後期月曜4限
 講義室 : 工15号棟110教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	その他 (Z99)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 施設計画マネジメント総論の演習を行う。

[講義内容] (1) 建築の有するのイメージとデザインの関係 (2) 建築空間を表現するボキャブラリ (3) 施設タイプと体感的な特徴 (4) 施設の地方性や立地からみた特色 (5) 施設計画の具体的なマネジメント手法や評価手法以上を大きな柱とし、幾つかの演習課題を通して、施設計画マネジメントの技術を体得する。

[キーワード] 施設計画, 集客施設, 人間と空間, 空間と体感

[履修条件] 毎回、簡単な製図やダイアグラム作図を行う用具を持参すること。色鉛筆3色、小型定規などを適宜持参する。演習課題は即日課題である。

[教科書・参考書] 教科書：建築デザイン計画（服部岑生ほか、朝倉書店）

授業科目名 : 建築生産 I
 科目英訳名 : Building Production I
 担当教官 : 安藤 正雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C0
 開講時限等: 2 年後期水曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 木造建築物、各種低層工業化建築の構法とともに、これら建築物の生産を支える社会の仕組みを学ぶ。

[講義内容] 導入部分では、建築市場、住宅建設市場の規模、変遷、問題点を理解する。次いで、在来軸組構法木造住宅の全体構法および各部構法を詳しく学び、構法の原理、歴史的成立過程、変化の要因を知る。あわせて、資材量・工数等生産関連の諸元を学び、木造建築物の設計・エンジニアリングに関する基礎的知見を身につける。そのほか、木質系、鉄鋼系、コンクリート系のプレファブ建築の概要を知ることにより、建築の工業化・産業化に関する考え方と手法を理解する。

[キーワード]

[教科書・参考書] 構造用教材(日本建築学会編)

授業科目名 : 構造力学 II
 科目英訳名 : Structural Mechanics II
 担当教官 : 小谷 俊介
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C1
 開講時限等: 2 年後期火曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境					専門選択 (F30)	
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ					専門選択 (F30)	
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

学科 コース	入学年度	
	1996 年	1995 年
T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 不静定構造物の解法の基礎として、構造物の変形の計算法を学び、不静定構造物の一般解法、撓み角法、固定法による解法を学ぶ。

[講義目的] 材料力学、構造力学 I の知識をもとに、力の釣合条件のみでは解くことができない不静定構造物について、部材に生じる応力を算定する方法を習得する。不静定構造物の解法には、力の釣合条件に加えて、構造物の変形に関する条件が必要になる。構造解析の方法としては、撓み角法、固定法を取り上げる。この学習を通じて、建築物の構造安全性を確認する構造設計法の応力解析に対する知識を深めさせる。

[講義内容] 第 1 回 仮想仕事の原理と構造物の変形 第 2 回 不静定トラスの解法 第 3 回 梁の変形
 第 4 回 不静定梁の一般解法 第 5 回 Castigliano の定理 第 6 回 固定端力の公式 第
 7 回 撓み角法によるラーメンの解法(節点移動がない場合) 第 8 回 撓み角法によるラーメンの解法
 (節点移動のある場合) 第 9 回 固定法の原理 第 10 回 固定法による連続梁の解法 第 11 回
 固定法によるラーメンの解法(節点移動のない場合) 第 12 回 固定法によるラーメンの解法(節点移動
 のある場合) 第 13 回 構造物の安定 第 14 回 構造物の振動 第 15 回 最終試験

[キーワード] 構造物の変形、エネルギー法、仮想仕事の原理、撓み角法、固定法、不安定問題、固有周期

[履修条件] 材料力学、構造力学 I

[教科書・参考書] 参考書 望月重、濱本卓司著:(改訂版)建築構造のための力学演習、鹿島出版会

授業科目名 : 構造力学演習 II
 科目英訳名 : Exercise on Structural Mechanics II
 担当教官 : (北嶋 圭二), 小谷 俊介
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C2

開講時限等: 2年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				学科 コース	入学年度	
	2002年	2001年	2000年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 構造物の変形、仮想仕事の原理、不静定構造物の一般解法、撓み角法、固定法、構造物の不安定、構造物の周期の評価について演習を通して理解する。

[講義目的] 構造力学 II の講義内容にしたがい、その理解度を深める演習である。

[講義内容] 第 1 回 静定トラスの変形第 2 回 不静定トラスの解法第 3 回 梁の変形(体積積分の公式)第 4 回 不静定梁の一般解法第 5 回 Castigliano の定理による不静定梁の解法第 6 回 固定端力の公式(床荷重による固定端力)第 7 回 固定法の原理第 8 回 固定法による連続梁の解法第 9 回 固定法によるラーメンの解法(節点移動のない場合)第 10 回 固定法によるラーメンの解法(節点移動がある場合)第 11 回 たわみ角法によるラーメンの解法(節点移動がない場合)第 12 回 たわみ角法によるラーメンの解法(節点移動がある場合)第 13 回 構造物の安定第 14 回 建物の周期第 15 回 学期末試験

[キーワード] 構造物の変形、不静定構造物、撓み角法、固定法、不安定問題、固有周期

[履修条件] 構造力学 I、材料力学

[教科書・参考書] 参考書 梅村魁、伊藤勝 著、「構造解析演習」、共立出版 等

授業科目名 : 構造設計 I
 科目英訳名 : Structural Design I
 担当教官 : (桜田 智之)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C3

開講時限等: 2年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[授業の方法] 講義

[講義概要] 木質構造の建築について、木質構造の分類と構法の基礎的知識、木材の性質と木質材料概論・木材資源の現状に関する知識、木材の耐火性・耐久性の知識、木質部材・金物接合の設計に関する知識、木質構造の構造設計体系・住宅性能評価に関する知識、を学習する。

[講義目的] 過去数十年にわたってわが国の大規模建築物のほとんどは鉄筋コンクリート造と鉄骨造によって建設され、木構造は、住宅建築専用の構法とする認識が定着している。この間、欧米の木構造は著しい技術革新がなされ大規模な建築物が次々と出現している。しかし、近年わが国でも木構造の新たな可能性が見直されはじめている。本講義では木構造の設計手法を通して、構造設計の導入としての基礎力を養う。

[講義内容] 1. 在来構法、2×4工法、木質パネル構法、集成材構法等の各種構法。2. 風圧力、地震力、積雪荷重に対する設計法。3. 木材資源と環境の問題、強度、比重、含水率、クリープ、ヤング係数等木材の性質。4. くぎ、ボルト、木ねじ、ラグスクリュー、メタルプレートコネクター等による接合法。5. 集成材、合板、LVL、OSB、PSL、MDF 等のエンジニアリングウッドの性質と性能。6. 炭化速度、防火、菌害、蟻害、腐朽、保守等木材の耐火性と耐久性。

[キーワード] 建築、構造、設計、木材、木質材料

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 木質構造建築読本：木質構造研究会編、井上書院

授業科目名 : 構造設計 III
 科目英訳名 : Structural Design III
 担当教官 : 森田 耕次
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C4
 開講時限等: 2年後期月曜1限
 講義室 : 工9号棟106教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[授業の方法] 講義

[講義概要] 構造エンジニアリング分野の授業科目として、鋼材料を用いた構造物や構造部材の強さやねばりの特性、これら構造物を組み立てるための設計・施工技術、その安全性を確保するための技術等に関する専門知識を教授する(建築構造の専門知識に該当)。

[講義目的] 鉄骨骨組に地震力や風圧力などの外力が作用したときの使用限界状態及び終局限界状態を考慮して、柱・梁などの部材の力学挙動及び柱と梁の接合部の力学挙動などの専門知識、並びに骨組架構の構造設計の枠組を学習・教育し、鉄骨構造の構造設計に関する専門的知識の講義による獲得—構造エンジニアリング分野の授業科目—構造設計演習 III によって専門知識、能力の獲得を促進させる。

[講義内容] (1) 建築用鋼材、(2) 鋼構造の設計法、(3) 圧縮材の設計、(4) はりの設計、(5) 板要素の局部座屈、(6) 柱の設計、(7) 溶接設計、(8) 溶接部の品質管理、(9) 溶接部の破壊現象、(10) 高力ボルト接合の設計、(11) 引張材の設計、(12) 柱はり接合部の設計、(13) 柱脚の設計、(14) 構造設計フロー、(15) 鉄骨構造に関する総合評価、以上の内容を順を追って解説し、(15) により鉄骨構造に関する総合的到達度を確認する。

[キーワード] 鋼構造、構造設計、許容応力度設計、終局強度設計

[教科書・参考書] 第4版「鋼構造設計演習」(社)日本鉄鋼連盟編、技報堂出版

[関連科目] 建築構造デザイン

[備考] 構造設計演習 III と対となった講義

授業科目名 : 構造設計演習 III
 科目英訳名 : Seminar on Structural Design III
 担当教官 : 森田 耕次
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C6
 開講時限等: 2年後期月曜2限
 講義室 : 工9号棟106教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年	1995年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 構造エンジニアリング分野の授業科目として、鋼材料を用いた構造物や構造部材の強さやねばりの特性、これら構造物を組み立てるための設計・施工技術、その安全性を確保するための技術等に関する専門知識を教授する(建築構造の専門知識に該当)。

[講義目的] 鉄骨骨組に地震力や風圧力などの外力が作用したときの使用限界状態及び終局限界状態を考慮して、柱・梁などの部材の力学挙動及び柱と梁の接合部の力学挙動などの専門知識、並びに骨組架構の構造設計の枠組を学習・教育し、鉄骨構造の構造設計に関する専門的知識の演習による獲得—構造エンジニアリング分野の演習科目—構造設計 III の講義と併せ、専門知識、能力の獲得を促進させる。

[講義内容] (1) 建築用鋼材、(2) 断面性能、(3) 圧縮材の設計、(4) はりの設計、(5) 板要素の局部座屈、(6) 柱の設計、(7) 溶接設計、(8) 溶接部の品質管理、(9) 溶接部の破壊現象、(10) 高力ボルト接合の設計、(11) 引張材の設計、(12) 柱はり接合部の設計、(13) 柱脚の設計、(14) 複合構造、(15) 柱はり接合部のディテール図に対する講評と授業評価アンケートの実施、以上の内容を順を追って演習し、毎回小テストを受ける。(15) により鉄骨構造に関する総合的な意識を確認する。

[キーワード] 鋼構造、構造設計、許容応力度設計、終局強度設計

[教科書・参考書] 第4版「鋼構造設計演習」(社)日本鉄鋼連盟、技報堂出版

[関連科目] 建築構造デザイン

[備考] 構造設計 III と対となった演習

授業科目名 : 建築数学
 科目英訳名 : Mathematics for Structural Engineering
 担当教官 : 前田 孝一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T100

開講時限等: 2 年後期火曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 教養の微積分・線形代数に引き続き、建築の構造力学を学ぶために必要なベクトル解析、複素解析、偏微分方程式に関する数学的基礎を学習する。

[講義目的] 建築技術者として必要な数学的基礎を身につける。

[講義内容] (1) 建築技術者のための数学、(2) 微積分、線形代数の復習、(3) 実数上のベクトル値関数：ベクトル関数の微分、積分、(4) 平面曲線と空間曲線、(5) 空間曲面、(6) 空間曲面の例、(7) 3次元デカルト座標系におけるベクトル解析、(8) 直交曲線座標系におけるベクトル解析、(9) 複素解析入門：コーシー積分、テーラー展開、ローラン展開、留数定理と定積分、(10) 任意関数の級数による展開：フーリエ級数展開、(11) ラプラス変換とフーリエ変換、(12) 構造工学における常微分方程式 (13)、構造工学における偏微分方程式、(14) 環境工学における偏微分方程式、(15) 期末試験

[キーワード] ベクトル解析、複素解析、偏微分方程式

[受講対象] ;

[履修条件] なし

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 建築設計プロセス I
 科目英訳名 : Architectural Design Process I
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 1.0 単位
 履修登録コード: T0C7

開講時限等: 2 年通期土曜 2 限 / 2 年後期土曜 2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 建築設計総合指導 I 及び II の設計課題に関する知識等を講義で理解を深める。また、演習課題では木造及び壁式構造の住宅を短期設計する。

[講義目的] 建築設計総合指導 I 及び II に関連し、設計課題に関する知識・技術を深め、設計に具体的に活用させる。

[講義内容] 設計課題の関連講義及び即日設計演習を行う。

[キーワード] 設計知識、短期設計

[履修条件] 同一のセメスターに建築設計総合指導 I 及び II を履修していること。

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 建築設計総合指導 III
 科目英訳名 : Architectural Design III
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C5

開講時限等: 3 年前期水曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 規模がより大きく複合的なプログラムの建築と地域のデザインを構想、企画し、計画を定め、総合的にまとめあげていく提案を作成するプロセスを学んでいく。計画に先立つ調査やプレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築デザイン III、建築デザイン IV を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース III
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design III
 担当教官 : (渡辺 泰男)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0C8

開講時限等: 3 年前期水曜 5 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 規模がより大きく複合的なプログラムの建築と地域のデザインを構想、企画し、計画を定め、総合的にまとめあげていく提案を作成するプロセスを学ぶためのデザイントレーニングをする。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 I・II を履修していること。

授業科目名 : 建築保全再生史
 科目英訳名 : History of Architectural Conservation
 担当教官 : 玉井 哲雄, MORRIS MARTIN NORMAN
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年前期月曜 2 限
 履修登録コード: TOCD 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 古建築の保存または再生に対するアプローチの歴史的発展とその理論・技術を紹介するための講義である。前半では日本の伝統的木造建築の構造・技法を全体的に扱い、その保存、修理の技術、現在における文化財建造物や町並保存の問題を考慮する。後半では、西洋を中心として、世界における保全再生を取り上げる。スライドやプリントを用いて説明する。

[講義内容] I、建築保全再生の考え方、II、伝統的木造建物の構造と用語、III、伝統的木造建物の構造手法、IV、伝統的木造建物の修理と復元、V、文化財建造物各論(古代・中世)、VI、文化財建造物各論(近世・近代)、VII、文化財建造物保全再生の展望、VIII、西洋建築史における古建築の評価と扱い(古代から一八世紀まで)、IX、一九世紀における古建築保存、X、二〇世紀における古建築保存、XI、建造物群と建築景観への関心、XII、古建築の再利用と再生: アプローチの発展と変化、XIII、実例を通して見る再生の可能性、XIV、保全再生の理論・理想・将来の展望

[キーワード]

授業科目名 : 建築史野外実習
 科目英訳名 : Architectural history field trip
 担当教官 : MORRIS MARTIN NORMAN
 単位数 : 4.0 単位 開講時限等: 3 年前期集中
 履修登録コード: TOCF 講義室 :

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1997 年
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[授業の方法] 実習

[講義概要] 各地に残されている寺院、神社、城、書院などの古建築、及び民家・町並などを実際に見学することにより、日本建築史に関する講義の内容を具体的に確認し、さらに理解を深めることを目的とする。

[講義目的] 各地に残されている寺院、神社、城、書院などの古建築、及び民家・町並などを実際に見学することにより、日本建築史に関する講義の内容を具体的に確認し、さらに理解を深めることを目的とする。

[講義内容] 例年、夏休みに八日間程度の見学旅行を行う。行き先は毎年異なるが、普通は京都と奈良は含まれている。参加する学生はそれぞれ、見学対象の建物から一つ選んで、あらかじめ準備し、その建物の前でその歴史と特徴について発表する。なお、古建築の修理現場、建造物跡の発掘現場などを見学する機会を設けたい。

[キーワード]

[履修条件] 建築と人間の歴史を履修していることが望ましい

[教科書・参考書] 「日本建築史図集」(日本建築学会編・彰国社刊)

[備考] 9月15日(月)~22日(月)の予定、詳細は後日発表

授業科目名 : 建築設備計画 I
 科目英訳名 : Architectural Equipment I
 担当教官 : (石渡 博)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D0, T0D1
 開講時限等: 3 年前期月曜 3,4 限隔週 1,3
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築・都市と建築設備の関りを理解し、快適で安全な建築環境を創り出す建築設備の考え方とその計画法を習得することを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 建築環境と設備環境、第 2 回 都市設備と建築設備、第 3 回 建築・建築設備の総合計画 (1)、第 4 回 同 (2)、第 5 回 各設備の計画 空調・暖房・換気 (1) 冷暖房負荷、第 6 回 同 (2) 空気線図、第 7 回 同 (3) 熱源システム、第 8 回 同 (4) 冷暖房・換気システム、第 9 回 同 (5) 熱の搬送システム、第 10 回 各設備の計画 給排水衛生設備 (1) 水回りの約束事、第 11 回 同 (2) 給水・給湯システム、第 12 回 同 (3) 給水通気システム、第 13 回 各設備の計画 電気設備 (1)、第 14 回 同 (2)、第 15 回 試験

[キーワード]

[教科書・参考書] 講義資料を毎回配布する。

授業科目名 : 室内環境計画 II
 科目英訳名 : Environmental Science of Architecture II
 担当教官 : (石川 幸雄)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D2, T0D3
 開講時限等: 3 年前期木曜 4,5 限隔週 1,3
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		
TJ2:都市環境 メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

学科 コース	入学年度		
	1997 年	1996 年	1995 年
T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 人間にとって快適な建築空間を創造するため、熱・湿気環境および空気環境に関する基礎知識を概説し、併せて建築設計への応用方法を解説する。また、空気調査衛星計画への橋渡しの役目として基礎知識に触れる

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 原則として建築学の基礎知識のある 3 年生以上

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 建築生産 II
 科目英訳名 : Building Production II
 担当教官 : 安藤 正雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D4

開講時限等: 3 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 高層集合住宅を中心に、RC 造、SRC 造、S 造の建築物の構法と生産を学ぶ。また、構工法計画、工事計画、プロジェクト・マネジメント手法の基本を学ぶ。

[講義内容] 中高層、超高層の集合住宅の躯体・内装・設備について、典型的な設計・計画法、構工法のあり方を学ぶ。構工法計画に関しては、RC 造・SRC 造構造物のモデリング技術の概要を知る。また、住棟計画・住戸計画に関連してオープン・ビルディングの理念と手法を理解する。さらに、工程計画、品質管理等生産現場に必須の知識を習得するとともに、プロジェクト・マネジメントに関する最新の動きと手法を学ぶ。

[キーワード]

[教科書・参考書] 特に無し。

授業科目名 : 建築材料実習
 科目英訳名 : Practice on Building Materials
 担当教官 : 前田 孝一, 吉池 佑一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D6

開講時限等: 3 年前期火曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度	
	2001 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 実習

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築の外装に用いる仕上材料について、その性能や設計上の留意事項などを学ぶ。また、工場見学やショールームの見学をまじえて、実際面でも概略を習得する。

[講義内容] 第 1 回: ガイダンス, 材料一般 第 2 回: 外装材料一般 第 3 回: カーテンウォール (1) 第 4 回: カーテンウォール (2) 第 5 回: カーテンウォール (3) 第 6 回: ガラス (1) 第 7 回: ガラス (2) 第 8 回: ガラス (3) 工場見学 第 9 回: 開口部材 第 10 回: 防水材 (1) 第 11 回: 防水材 (2) 第 12 回: サイディング 第 13 回: A L C 第 14 回: ショールーム見学会 第 15 回: 試験

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 参考書: 建築材料用教材: 日本建築学会, 1998 定価 1,995 円

授業科目名 : 構造設計 II
 科目英訳名 : Structural Design II
 担当教官 : 野口 博
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D7

開講時限等: 3 年前期金曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				

[授業の方法] 講義

[講義概要] 鉄筋コンクリート建物について、鉄筋コンクリートの基礎知識、構造計画・設計ルートに関する知識、使用材料に関する知識、荷重・外力に関する知識、各種部材の曲げ・せん断設計に関する知識、2次設計に関する知識など、構造設計全般に渡って学習する。

[講義目的] 本講義では、鉄筋コンクリート構造の基本的な原理および設計方法を学ぶ。鉄筋をコンクリート中に何故埋め込んで、しっかり定着させなければならないのかという鉄筋コンクリートの常識から、構造設計の考え方、さらには建物の構成部材である柱、はり、床スラブ、耐震壁などの設計法を学ぶ。

[講義内容] 第1回: 1.1 鉄筋コンクリート構造を自分で構造設計するためには何を勉強しなければならないか?。1.2 鉄筋コンクリート構造の構造設計の流れ。1.3 鉄筋コンクリートの常識。1.3.a コンクリートと鉄筋の強さ。1.3.b 鉄筋を何故入れるのか?。1.3.c 鉄筋は曲げモーメント図の出る側に入れよ。第2回: 1.3.d せん断力によってもコンクリートに引張力が生ずる。1.3.e 鉄筋は良く定着しておくこと。1.3.f 鉄筋コンクリートは良く付着していなければならない。第3回: 2.1 鉄筋コンクリート部材を設計するにあたって。2.2 使用するコンクリートと鉄筋の強度。2.3 鉄筋量の求め方に関する基本的な考え方と許容応力度。第4、5回: 2.4 はり主筋量の求め方。第6、7回: 2.5 使用する鉄筋径および鉄筋本数は適当に決めてはならない。第8回: 2.6 柱主筋量の求め方。第9、10回: 2.7 はり、柱部材のせん断補強筋(あばら筋、帯筋)の求め方。第11回: 2.8 床スラブと小ばりの設計。第12回: 2.9 耐震壁の設計。第13回: 2.10 基礎の設計。第14回: 3.二次設計の概要。第15回: テスト。

[キーワード] 建築、構造、設計、鉄筋コンクリート

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 鉄筋コンクリートの構造設計入門 - 常識から構造計算まで - : 田中礼治著、相模書房

授業科目名 : 構造設計演習 II
 科目英訳名 : Seminar on Structural Design II
 担当教官 : 野口 博, 柏崎 隆志
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D8
 開講時限等: 3 年前期金曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択 (F30)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 鉄筋コンクリート建物について、鉄筋コンクリートの基礎知識、構造計画・設計ルートに関する知識、使用材料に関する知識、荷重・外力に関する知識、各種部材の曲げ・せん断設計に関する知識、2次設計に関する知識など、構造設計全般に渡って学習する。

[講義目的] 本演習では、簡単な鉄筋コンクリート構造建物の構造設計を実際に自分の手で体験しながら、構造設計 II の講義内容を更に深く理解することを目的とする。

[講義内容] 第 1 回: 鉄筋コンクリート構造の基礎知識。第 2 回: 建築物の概要、設計方針、使用材料と許容応力度、材料強度。第 3 回: 構造計画、設計ルート。第 4 回: 断面仮定と剛比算定。第 5 回: 荷重、外力、鉛直荷重時応力算定(固定荷重、積載荷重)。第 6 回: 水平荷重時応力算定(地震力、風圧力)。第 7、8 回: 大梁の断面算定、主筋、あばら筋の算定。付着の検討。第 9 回: 基礎梁、小梁の断面算定。第 10、11 回: 柱の断面算定、主筋、帯筋の算定。第 12 回: スラブの設計。第 13 回: 基礎の設計。第 14 回: 耐震壁の設計。第 15 回: 二次設計、層間変形角、剛性率、偏心率、保有水平耐力。

[キーワード] 建築、構造、設計、鉄筋コンクリート

[履修条件] 構造設計 II を履修していることが望ましい。

[教科書・参考書] 構造計算書で学ぶ鉄筋コンクリート構造: 上野嘉久著、学芸出版

[備考] 毎回、レポートを提出すること。また電卓を準備すること。

授業科目名 : 火災安全工学
 科目英訳名 : Fire Safety Engineering
 担当教官 : 上杉 英樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0EC
 開講時限等: 3 年前期水曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度 1996 年
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A 専門選択必修 (F20)	

[授業の方法] 講義

[講義概要] 建築物の火災安全設計について講義する。

[講義目的] 日本において、建築火災の件数は年間 3 万 5 千件位で、火災による死者は 2000 人位である。人間の注意だけで火災を防ぐことは不可能であり、事前の対策を建築設計の段階で盛り込む必要がある。スプリンクラーなどの自動消火設備や火災報知機の設置・避難経路の確保・防火区画の意味を理解し、さらに区画部材および架構骨組の耐火性を、防火区画内の可燃物量に応じて設計する必要がある。

[講義内容] 講義内容は 4 つの項目に大別される。1 つ目は基礎理論として、発火点と発熱量・熱移動・対流・伝導・放射などについて講義する。2 つ目は火災性状として、換気支配型と燃料支配型の火災・フラッシュオーバー・解析モデルなどについて講義する。3 つ目は部材の温度上昇として、熱流モデルや熱伝導に関する基礎理論・各種予測法と実験結果などについて講義する。4 つ目は架構の応力・変形解析として、弾性解析から塑性解析まで、鋼構造架構などを例に講義する。

[キーワード] 火災, 建築

[履修条件] 火災安全工学演習を履修すること。

[教科書・参考書] 第 1 回の講義にて指定する。

[備考] 試験により成績を評価する。

授業科目名 : 火災安全工学演習
 科目英訳名 : Seminar on Fire Safety Engineering
 担当教官 : 上杉 英樹, 平島 岳夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: TOED
 開講時限等: 3 年前期水曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 火災に対する避難安全計画・延焼防止計画・構造安定性を確保するための方法について、基本的な考え方を学ぶ。具体的には、実際の建物を例に火災安全対策方法を説明し、火災時における避難計算および構造安定性の計算について演習する。

[講義目的] 火災の性質と特徴、火災から都市・建築環境を守るための諸方策等、建築防災に関する知識を学ぶ。さらに、建築構造に対する専門知識として、火災諸因子の特徴、建築構造に作用する力、構造安定性を確保するための防災技術等に関する専門知識を学ぶ。

[講義内容] (1) 概要説明, (2) 火災事例より得た避難に関する教訓, (3) 避難施設と避難計画:二方向避難の原則, (4) 避難時間の計算方法, (5) 煙の降下時間に関する計算方法, (6) 避難安全検証の演習, (7) 初期火災とフラッシュオーバー, (8) 防火設備による初期消火, (9) 防火区画による延焼防止, (10) 耐火設計の概要, (11) 火災温度と火災継続時間の計算, (12) 伝熱工学に基づく部材温度の算定, (13) 鋼構造骨組の崩壊温度, (14) 火災事例より得た耐火に関する教訓, (15) 火災安全工学の試験問題の解説

[キーワード] 火災, 避難計画, 延焼防止計画, 耐火設計

[履修条件] 火災安全工学を履修すること。

[教科書・参考書] 参考書: 火災と建築, 日本建築学会, 共立出版

[備考] 出欠およびレポートにより成績を評価する。

授業科目名 : 先端建築論 III
 科目英訳名 : Advanced Architectural Studies III
 担当教官 : (横堀 肇), (日塔 和彦)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T101
 開講時限等: 3 年前期金曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A 専門選択必修 (F20)	

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 住宅・都市再開発事業、および伝統的建造物の保存・再生事業の分野で活躍する技術者・研究者が、建築技術のみならず、対人間関係も含めた実務の世界を概説し、実際の現場を見学することによって建築の世界におけるそれらの事業の意味を考えさせる。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 他学科及び他系の学生の聴講は認めない。

授業科目名 : 建築設計総合指導 IV
 科目英訳名 : Architectural Design IV
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官, 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0D9

開講時限等: 3 年後期水曜 4 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] プログラムのより複雑で高度な建築のデザインを構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげていく提案を作成する。計画に先立つ調査やプレゼンテーションの方法、共同でプロジェクトを進めることもあわせて学習する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築デザイン III、建築デザイン IV を履修していること。

授業科目名 : 建築エスキース IV
 科目英訳名 : Esquisse for Architectural Design IV
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官, 田山 茂夫
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DA

開講時限等: 3 年後期水曜 5 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] プログラムのより複雑で高度な建築のデザインを構想、企画し、計画を定め総合的にまとめあげていく提案を作成するためのデザイントレーニングを行う。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 I・II・III を履修していること。

授業科目名 : 都市地域デザイン I
 科目英訳名 : Urban & Regional Design I
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CA
 開講時限等: 3 年後期火曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 都市計画とは、何を目的として、それをどのような手段で達成しようとするのだろうか。講義では、都市および都市計画がこのような課題に時代とともにどのように変わってきたのかを検討し、現在の都市計画の位置を明らかにしたい。そのために、18 世紀以降都市計画がどのように展開してきたかを検討することが中心的作業となる。なお、4 年前期の「都市地域デザイン II」で具体的な課題への展開を行うので、あわせて受講されたい。

[講義内容] (1) 都市計画の立脚点 (4・6・10 の原則)、(2) 18 世紀のプランニング (パリとロンドンを中心に)、(3) 産業革命下の都市と都市計画思想、(4) オースマンによるパリ改造の意味とその影響、(5) 東京市区改正条例、(6) 田園都市論そして近隣住区論、(7) 近代建築家と都市計画、(8) 1919 年都市計画法と震災復興事業、(9) 1968 年都市計画法、(10) 1980 年代からの都市計画の変容、(11) 都市の課題と都市計画: ツールからシステムへ。(1 項目が 2 回にわたる場合がある)

[キーワード]

[教科書・参考書] 『近代日本の都市計画百年』(石田頼房、自治体研究社)、『都市にとって土地とは何か』(大谷幸夫編、筑摩書房)、『近代都市計画』(フランソワーズ・ショエ、井上書店)、『都市計画』(日笠端、共立出版)

授業科目名 : 都市地域デザイン II
 科目英訳名 : Urban & Regional Design II
 担当教官 : 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DB
 開講時限等: 4 年前期火曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TJ:都市環境 B	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ1:都市環境 環境	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)					

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 「都市計画とは何か」を基本テーマに近代都市計画の歴史をたどった「都市地域デザイン I」に続いて、この講義では、より具体的に、現代の都市計画の課題をとりあげて、その課題が生ずる背景やメカニズム、それに対する都市計画としての考え方や解決方法を検討していく。講義は、全 4 冊からなる絵本『ぼくたちのまちづくり』を紹介し、1 冊ごとにそれに係わるテーマを 3~4 回にわたって取り上げるという方法で進める。

[講義内容] (1) 『ぼくたちのまち・世界のまち』、(2) 建築と都市: 個の成立と全体への参加、(3) 町並み保存: 何をなぜどのように保存するのか、(4) 『商店街を救え』、(5) 商店街の成立と衰退 (6) 都市はなぜ成長するか?、(7) 人口の基礎理論と予測、(8) 『都市へ自然をとりもどせ』、(9) 土地利用計画と規制、(10) 自然環境の保全と都市開発 (ケーススタディ [三番瀬])、(11) 交通計画の考え方と手法、(12) 『楽しいまちをつかった』、(13) ゾーニングとマスタープラン、(14) 住宅問題と住宅政策、(15) 町づくりを担うのは誰か?

[キーワード]

[教科書・参考書] 参考書: 『ぼくたちのまちづくり』(福川裕一、岩波書店)、『パターン・ランゲージ』(C. アレキサンダー、鹿島出版会)、『地域モデル入門』(W. ハイラー、アグロウヒル好学校)、『ゾーニングとマスタープラン』(福川裕一、学芸出版)

授業科目名 : 建築法規・行政
 科目英訳名 : Architectural Regulation and Administration
 担当教官 : (下川 幸一)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DC
 開講時限等: 3年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 実務に就いて建築物の設計、施工等をする場合、あるいは街づくり等に係わる場合、様々な法規制があることに気づかされることとなります。この授業では、建築行政上から見た問題点を解説するほか、建築基準法を中心にして、建築士法、都市計画法、消防法等の概要を含めて解説することにより、関係する法の全体像を理解してもらうことを目的とする。

[講義内容] 第1回 建築行政・建築法規とは 第2回 営繕行政に係わる問題等 第3回 住宅行政に係わる問題等 第4回 建築基準法に関すること(以下同じ)・体系、目的等 第5回 建築確認制度・建築士法概要等 第6回 構造方法に関する技術的基準等 第7回 構造計算の基準等 第8回 屋根、外壁、耐火建築物、設備等 第9回 耐火構造、防火区画等 第10回 避難施設、内装制限、消防法概要等 第11回 都市計画法概要等 第12回 敷地と道路、用途制限等 第13回 建ぺい率、容積率等 第14回 高さ制限、日影規制、地区計画、建築協定等 第15回 工作物、工事中の安全等

[キーワード]

[教科書・参考書] 教科書：講義録参考書：建築法規用教材(日本建築学会編・丸善発売) 基本建築基準関係法令集

授業科目名 : 造園学
 科目英訳名 : Landscape Architecture
 担当教官 : 赤坂 信
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DD
 開講時限等: 3年後期金曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境							専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ						個別科目 (C14)		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)		

[授業の方法] 講義

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 人間生活の発達とともに、快適な生活空間を創造することを意図した社会の動向として、庭園、都市の公園・緑地、自然公園など様々な造園空間が創出され発達してきた。これらの造園空間誕生の背景、造園空間の発展過程、造園空間の特性、造園空間創造技術の概要などに関する基礎理論と技術の修得を目的とする。

[講義内容] 20003/10/03 オリエンテーション 20003/10/10 I 自然志向と現代社会 20003/10/17 (休講)
 20003/10/24 II 造園学の発祥と造園の対象領域 20003/10/31 " 20003/11/07 III 日本
 の造園空間 20003/11/14 " 20003/11/21 (休講) 20003/11/28 IV
 ヨーロッパの造園空間 20003/12/05 " 20003/12/12 V 造園
 空間の社会化——庭園・都市・ランドスケープ 20003/12/19 " 2004/01/09
 VI Landschaft と Naturgenuss 2004/01/16 VII 自然と人間の関わりにおける美の問題
 2004/01/23 VIII 風景の破壊、保存、発見、再生 2004/01/30 総括 / テス
 ト

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 参考文献等は以下に示す他、講義で通知する。田中正大：日本の庭園、SD選書23、鹿島出版会
 岡崎文彬：ヨーロッパの造園、SD選書43、鹿島出版会オギュスタン・ベルク：日本の風景、西洋の景観そ
 して造景の時代；講談社現代新書イーファー・トゥアン：空間の経験；筑摩書房古川彰/大西行雄編：環境イメ
 ジ論—人間環境の重層的風景—、弘文堂桑子敏雄：環境の哲学—日本の思想を現代に活かす—、講談社学術文
 庫赤坂 信：森林風景とメディア；遠い林・近い森—森林観の変遷と文明—、愛智出版

[備考] 課題提出、excursionあり。要 知力&体力。

授業科目名 : 施設デザイン計画 I
 科目英訳名 : Architectural Programming and Design I
 担当教官 : 中山 茂樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CB
 開講時限等: 3 年後期木曜 1 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築計画・デザインの基礎として、建築の規模・空間構成の計画に関する建築技術を、公共建築の施設デザイン、特に医療・福祉系のデザインを通し、研究例や具体的な建築事例をもとに講義する。

[講義内容] 1. 近・現代の建築計画理論、2. デザイン計画における問題設定と資料収集の手法としての使われ方調査、3. 医療・福祉系施設の歴史のおよび社会的背景、関連研究の意味とその成果、建築計画・プログラミング・デザイン理論によるデザイン手法の解説、および他のビルディングタイプへの応用例の紹介。

[キーワード]

[履修条件] 施設計画マネジメント総論および同演習を履修していること。また施設デザイン計画演習 I を同時に履修すること。

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 施設デザイン計画演習 I
 科目英訳名 : Drill of Architectural Programming and Design I
 担当教官 : 中山 茂樹
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0CC
 開講時限等: 3 年後期木曜 2 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 施設デザイン計画 I の内容について、実際の建築計画の課題から作られた問題を、講義の進行に対応して解決する演習を行なう。実際の建築見学を含む。

[講義内容] 1. 施設利用者と空間との関係把握、2. 施設の使用われ方調査の実際と予測、3. 空間評価の練習、4. プランニングの進化の分析、5. 空間分節分析

[キーワード]

[履修条件] 施設デザイン計画 I と同時に履修すること。即日の演習であるので、色鉛筆・定規などを持参すること。

[教科書・参考書] なし

授業科目名 : 室内環境計画 III
 科目英訳名 : Environmental Science of Architecture III
 担当教官 : (秋田 剛)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E1

開講時限等: 3 年後期火曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1995 年
TE:都市環境							T2:建築 A	専門選択 (F30)	専門選択必修 (F20)
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)			

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 環境工学の内、音環境を騒音防止計画と建築音響計画に分けて概説する。光環境に関しては、採光計画から照明計画までを解説する。劇場や美術館などの実例をスライドで提示したり、テープで実際の音を聞くことを体験してもらい、建築との関わりを理解できるようにする。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 原則として、建築学の基礎知識のある 3 年生以上

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 建築設備計画 II
 科目英訳名 : Architectural Equipment II
 担当教官 : (斎藤 満)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E2

開講時限等: 3 年後期金曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築電気設備の役割と基礎・計画知識、建築の設計・施工との接点などについて講義する。また、ビルの主要な搬送設備であるエレベータ・エスカレータの仕組みと計画手法、地球環境問題とこれに関連する建築設備の省エネ手法についても講義する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[教科書・参考書] 教科書；自作の資料を使用する。参考書；電気設備学会「建築電気設備の計画と設計」。

授業科目名 : 荷重外力論
 科目英訳名 : Loads on Buildings
 担当教官 : 高橋 徹
 単位数 : 1.0 単位
 履修登録コード: T0E4

開講時限等: 3 年後期水曜 2 限前半
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度		学科 コース	入学年度
	2001 年	2000 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 建築物に作用する各種荷重外力を整理し、その要因と構造設計における取扱い方法を学ぶ。施設デザインを専攻する学生にも身に付けて欲しい基本的事項である。

[講義目的] 日本は四季に恵まれている、逆にいうと建築物には過酷な環境である。本講義では地震や強風等の、防災に必要となる災害諸因子の特徴、建築構造に作用する力、構造安全性を確保するための防災技術等に関する専門知識を身につけることを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス・授業の位置づけと荷重の種類, 第 2 回 固定荷重と積載荷重, 第 3 回 積雪荷重, 第 4 回 風荷重, 第 5 回 地震荷重, 第 6 回 温度荷重・衝撃荷重・その他の荷重, 第 7 回 荷重のばらつき, 第 8 回 試験

[キーワード] 荷重, 外力, 雪, 風, 地震

[受講対象] デザイン工学科建築系 3 年生

[教科書・参考書] 日本建築学会: 建築物荷重指針, 1993

[関連科目] 構造耐力論

[備考] 後期を前半と後半にわけ、構造耐力論とガイダンスを共有し、前半の 8 回で 1 単位を与える。

授業科目名 : 構造耐力論
 科目英訳名 : Structural Performance
 担当教官 : 高橋 徹
 単位数 : 1.0 単位
 履修登録コード: T0E5

開講時限等: 3 年後期水曜 2 限後半
 講義室 : 工 9 号棟 107 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度		学科 コース	入学年度
	2001 年	2000 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 性能設計を行う上で重要となる構造物の耐力のばらつき、信頼性の考え方、信頼性設計法の基礎などについて学ぶ。前半の荷重外力論を履修していることが望ましい。

[講義目的] 建築構造物の破壊を確率的に考えることを通して建築構造関連理論・技術の高度化に資する新技術に対する基礎知識を身につけ、建築構造物の耐力に関する基礎的かつ実践的な知識と、荷重・耐力のばらつきを考えた信頼性設計法に関する実践力を身に付けることを目標とする。

[講義内容] 第 1 回 ガイダンス・授業の位置付け, 第 2 回 建物の耐力, 第 3 回 耐力のばらつき, 第 4 回 破壊確率, 第 5 回 二次モーメント法 1, 第 6 回 二次モーメント法 2, 第 7 回 システム信頼性, 第 8 回 試験

[キーワード] 性能設計, 信頼性, 破壊確率, 構造耐力

[受講対象] デザイン工学科建築系 3 年生

[履修条件] 荷重外力論を履修していることが望ましい

[教科書・参考書] 日本建築学会: 建築物荷重指針・同解説, 日本建築学会 (1993) A.H-S. Ang, W.H. Tang 著, 伊藤学, 亀田弘行 訳: 土木・建築のための確率・統計の基礎, 丸善 (1977) A.H-S. Ang, W.H. Tang 著, 伊藤学, 亀田弘行ほか訳: 土木・建築のための確率・統計の応用, 丸善 (1988) 神田順 編著: 限界状態設計法のすすめ, 建築技術 (1993) R.E. Melchers: Structural Reliability Analysis and Prediction (Second Edition), John Wiley & Sons (1999)

[関連科目] 荷重外力論, 統計学 B

[備考] 後期を前半と後半にわけ、荷重外力論とガイダンスを共有し、後半の 8 回で 1 単位を与える。

授業科目名 : 基礎地盤工学
 科目英訳名 : Foundation Engineering
 担当教官 : 中井 正一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E6
 開講時限等: 3年後期水曜 3限
 講義室 : 工9号棟 106教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年
TF:都市環境						専門選択 (F30)
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 全く空中に浮いた建築物が無いことから分かるように、建物と地盤を切り離して考えることはできない。したがって、建物が安全であるためにはその建物がどのような地盤の上に建てられているかを把握することが大切である。この講義では、まず地盤の性質を理解し、ついで建物と地盤の接点である基礎構造について学ぶ。なお、授業では、理解を助けるために必要に応じて簡単な演習問題を出題する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[履修条件] 材料力学を履修していることが望ましい

[教科書・参考書] 山肩邦男：建築基礎工学、朝倉書店

授業科目名 : 建築施工
 科目英訳名 : Construction Practice
 担当教官 : (清水 四郎)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E7
 開講時限等: 3年後期月曜 5限
 講義室 : 工9号棟 206教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					学科 コース	入学年度 1997年
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 生産行為として捉えた、建築設計から施工への流れと繋がり、及び建築施工の概観を学ぶ。単に施工の知識や技術の習得だけではなく、設計行為に続き、実体を造る行為としての施工の有り様について理解を図る。施工行為の実態の理解を助けるため、できる限り工事記録等のビデオを活用すると共に、現場見学を取り入れる。

[講義内容] 第1回：建築生産における設計と施工の関係 [設計と施工の役割分担、及び設計から施工への流れと繋がりを理解する] 第2回：建築の生産システムと契約方式 [発注者、設計者、工事監理者、施工者の関係と役割、及び請負方式を理解する] 第3回：日本の建設産業と建設業 [日本経済における建設産業の規模と役割、及び建設業の実態について理解する] 第4回：工事の受注までの流れ [営業、現場説明、質疑応答、見積り、決済、入札、契約までの流れを理解する] 第5回：施工準備と施工計画 [着工時の社内外への諸手続き、諸官庁への申請、現地調査、及び施工計画を理解する] 第6回：仮設工事 [仮設工事の役割と工事内容、及び仮設工事の考え方を理解する] 第7回：基礎・地下工事 [山留め工事、杭工事、土工事、地業工事の相互関係と、地下工事の要点を理解する] 第8回：躯体工事 (1) [主に在来工法での、躯体工事の基礎的な施工方法と管理方法を理解する] 第9回：躯体工事 (2) [躯体構築の新工法 (工業化工法) について、発展の背景と工法の特徴を理解する] 第10回：仕上げ工事 (1) [仕上げ工事の施工の流れとその特徴、及び施工管理の手法について理解する] 第11回：仕上げ工事 (2) [工種別仕上げ工事の要点を理解する] 第12回：設備工事 [建築施工における設備工事の概要と、建築工事との関連について理解する] 第13回：建築の品質保証とアフターサービス [建築工事における品質保証の考え方と体制、及びアフターサービスの実態を理解する] 第14回：現場見学 [建設途中の建物や仮設物、働く職員や労働者等を通して、造ることの実態を観る] 第15回：試験 [資料等の持ち込み、参照を許可する。但し、共同利用は厳禁]

[キーワード]

[履修条件] なし

[教科書・参考書] 特になし。毎回、講義プリントを配布する。

授業科目名 : 構造実験
 科目英訳名 : Experiments of Structural Engineering
 担当教官 : 原田 幸博, 柏崎 隆志, 平島 岳夫
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年後期火曜 3,4 限
 履修登録コード: TOEE, TOEF 講義室 : 工 19 号棟 115 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 実験

[講義概要] 構造力学 IA または IB, 材料力学および構造力学 II などの講義及び演習で学んだ建築構造の基本的な原理を、模型を用いた実験によって体験的に学ぶ。

[講義目的] 構造力学 IA または IB, 材料力学および構造力学 II などの講義及び演習で学んだ建築構造の基本的な原理を、模型を用いた実験によって体験的に学ぶ。木片を用いて模型を設計・製作し、その模型の硬さや強さを予測し、自ら模型に重りを載せて破壊してみる。講義や紙上の演習だけでは得難かった構造力学に対する感覚を身につける。

[講義内容] 三種類の構造モデル(梁、トラス、ラーメン)について、構造模型を用いた実験を行う。それぞれの実験は、予備計算と構造模型の設計、構造模型の製作、構造模型への載荷、実験データの整理と分析、レポート発表の順に行う。

[キーワード] 構造力学, 構造実験

[履修条件] 構造力学 IA または IB, 材料力学, および構造力学 II を履修済みであることが望ましい。

[教科書・参考書] 参考書: 日本建築学会: 構造入門教材 ちからとかたち, 日本建築学会

[備考] 所定のレポートチェック(一つの実験で 2 回)を受けることとレポート発表を 1 回以上行うことが、単位認定の条件である。

授業科目名 : 先端建築研究
 科目英訳名 : The forefront Studies in Architecture
 担当教官 : 服部 岑生, 福川 裕一
 単位数 : 2.0 単位 開講時限等: 3 年後期金曜 3 限 / 3 年後期金曜 4 限前半
 履修登録コード: TOEA 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A 専門選択 (F30)	

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築物に必要なとされる機能は、その用途、構造形態、利用する人々、社会状況などとともに変化し、常に研究対象を提供してくれている。この講義では通常の講義とは趣を異にし、建築系の各教育研究分野における最先端の研究の現状を紹介することを通じて、学生諸君の見聞を深めることを目的とする。

[講義内容] 第 1 回, 第 2 回: 歴史・保全再生教育研究分野, 第 3 回: 構造力学教育研究分野, 第 4 回, 第 5 回: 建築環境教育研究分野, 第 6 回: 構造解析教育研究分野, 第 7 回, 第 8 回: 建築・都市デザイン教育研究分野, 第 9 回, 第 10 回: 制御設計教育研究分野, 第 11 回, 第 12 回, 第 13 回: 施設デザイン教育研究分野, 第 14 回, 第 15 回, 第 16 回: 構造計画教育研究分野

[キーワード]

[履修条件] 履修課程上は選択必修であるが、JABEE 対応と研究室配属を考慮し、全員が受講することが望ましい。

[教科書・参考書] 特になし

[備考] 研究室配属の時期を考慮し、2 限連続 × 8 週で構成する。他学科及び他系の学生の聴講は認めない。

授業科目名 : 建築設計プロセス II
 科目英訳名 : Architectural Design Process II
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 1.0 単位
 履修登録コード: T0F0
 開講時限等: 3 年通期土曜 2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 建築設計総合指導 III 及び IV の課題に関する知識について講義で理解を深める。また、演習では、ラーメン構造の建築物や断面詳細図を求める短期設計を課す。

[講義目的] 建築設計総合指導 III 及び IV に関連し、設計課題に関する知識・技術を深め、設計に具体的に应用させる。

[講義内容] 設計課題の関連講義及び短期設計演習を行う。

[キーワード] 設計知識、短期設計

[履修条件] 同一の Semester に建築設計総合指導 III 及び IV を履修していること

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 先端建築環境論
 科目英訳名 : Energy Saving and Global Environment
 担当教官 : (井上 隆)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E9
 開講時限等: 4 年前期月曜 6 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 施設デザイン計画 II
 科目英訳名 : Architectural Programming and Design II
 担当教官 : 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DE
 開講時限等: 4 年前期月曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築の計画・デザインのための理論や手法を、具体的な建築事例また研究成果を引用しながら解説する

[講義内容] 特に国内外の教育施設を中心にさまざまな施設を具体的事例としてとりあげ、近代から現代の建築計画・デザイン理論、環境・文化的背景と建築、プログラミングとマネージメント、計画・デザインプロセス、環境行動デザイン、デザイン教育などのテーマについて講義する。

[キーワード]

[履修条件] 施設計画マネージメント総論及び同演習、施設デザイン計画 I 及び同演習を履修済みのこと。また施設デザイン計画演習 II を同時に履修すること。

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 施設デザイン計画演習 II
 科目英訳名 : Dril 1 or Architectural Programing and Design II
 担当教官 : 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0DF
 開講時限等: 4 年前期月曜 4 限
 講義室 : 工 9 号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 施設デザイン計画 II の内容についての演習を行う。

[講義内容] 施設デザイン計画 II の講義内容に関する簡単な演習課題、討議、レポート作成、また実際の建築見学を行う。

[キーワード]

[履修条件] 施設デザイン計画 II と同時に履修すること。

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 近代建築史
 科目英訳名 : History of Modern Architecture
 担当教官 : MORRIS MARTIN NORMAN, 玉井 哲雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0E0
 開講時限等: 4 年前期火曜 3 限
 講義室 : 工 9 号棟 106 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 一八世紀以降、次第に現代の社会が出現する中で、建築がどのように発展・変化したかを紹介する講義である。前半は、一八世紀と一九世紀の Revivalism から、二〇世紀の Modernism を通して、Post Modernism までの西洋建築を中心に建築の発展を辿る。後半は、近代建築がどのように日本に導入され、定着・発展したかを日本の近代化過程の中で考えることを目的とする。スライドやプリントを用いて、説明する。

[講義内容] I、一八世紀～一九世紀中期の西洋建築、II、工業革命と建築、工業革命における都市、III、美術工芸運動、田園都市、アール・ヌーヴォーと新様式の探求、IV、モダニズム (第二次世界大戦まで) V、一九世紀後期～第二次世界大戦までの様式建築、VI、戦後の建築、VII、一九七〇年代以降の建築、VIII、日本建築における西欧化と近代化、IX、擬洋風建築と地方建築文化、X、日本の様式建築 - 西欧建築の定着、XI、都市空間の近代化、XII、住空間の近代化、XIII、日本における近代建築、XIV、日本建築の展望

[キーワード]

[教科書・参考書] 参考書 : 「近代建築史図集」(日本建築学会編、彰国社刊)

授業科目名 : 振動工学・耐震設計
 科目英訳名 : Structural Dynamics and Earthquake Engineering
 担当教官 : 小谷 俊介
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F1
 開講時限等: 4 年前期木曜 1 限
 講義室 : 工 15 号棟 109 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度		
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] 講義

[講義概要] 地震の発生メカニズム、地震動の特性、過去の地震災害、建築構造に用いられる振動論、計算機による地震応答解析、現行の耐震設計法について学ぶ。

[講義目的] 建築構造物の安全性を確保する耐震設計の背景として、地震、地震動、地震災害についての基礎的な知識を学ぶとともに、振動論に基づいて建築物の地震応答を解析する方法を理解する。最後に、現在行われている耐震設計の方法について学ぶことを目的とする。

[講義内容] 第 1 回 大陸の移動とプレート構造説 第 2 回 地震の特性 第 3 回 震害と耐震構造学の発達 第 4 回 1 質点系の自由振動 第 5 回 1 質点系の強制振動 第 6 回 数値積分法 第 7 回 地震応答スペクトル 第 8 回 構造物(多自由度系)の動特性 第 9 回 自由振動と固有値問題 第 10 回 固有値問題の数値計算法 第 11 回 多自由度系の応答解析法 第 12 回 フレーム構造の応答解析 第 13 回 耐震設計(許容応力度等計算) 第 14 回 耐震設計(限界耐力計算) 第 15 回 学期末試験

[キーワード] 地震、地震動、地震災害、振動論、耐震設計

[履修条件] 構造力学 II、材料力学

[教科書・参考書] 講義ノート: ホームページに公開する参考書: 柴田明德著、「最新建築学シリーズ 9 最新耐震構造解析」、森北出版 等

授業科目名 : 振動工学・耐震設計演習
 科目英訳名 : Seminar on Structural Dynamics and Earthquake Engineering
 担当教官 : 小谷 俊介, 大網 浩一
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F2
 開講時限等: 4 年前期木曜 2 限
 講義室 : 工 15 号棟 109 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] 演習

[講義概要] 建築構造に用いられる振動論、計算機による地震応答解析、現行の耐震設計法について演習する。

[講義目的] 振動工学・耐震設計の講義内容に従い、その理解度を深める。

[講義内容] 第 1 回 FORTRAN プログラム 1 第 2 回 FORTRAN プログラム 2 第 3 回 パソコン操作 1 第 4 回 パソコン操作 2 第 5 回 1 質点系の自由振動・強制振動 第 6 回 数値積分法 第 7 回 地震応答スペクトル 第 8 回 構造物(多自由度系)の動特性 第 9 回 自由振動と固有値問題 第 10 回 固有値問題の数値計算法 第 11 回 多自由度系の応答解析法 第 12 回 フレーム構造の応答解析 第 13 回 耐震設計(許容応力度等計算) 第 14 回 耐震設計(限界耐力計算) 第 15 回 学期末試験

[キーワード] 地震、地震動、地震災害、振動論、耐震設計

[履修条件] 構造力学 II、材料力学

[教科書・参考書] 参考書: 柴田明德著、「最新建築学シリーズ 9 最新耐震構造解析」、森北出版 等

授業科目名 : 建築生産設計
 科目英訳名 : Building Production Design
 担当教官 : 安藤 正雄
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0EB
 開講時限等: 4年前期金曜3限
 講義室 : 工9号棟 206 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1997年	1996年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建築各部の詳細設計を行うために必要な知識を習得するとともに、生産設計の基本を学ぶ。

[講義内容] 躯体構成材、ファサード、屋根、内装等、建築の代表的部位について、構法原理と各種のディテールを学ぶ。また、性能設計に関する理論の基本を修得する。さらに、総合図やコンカレント・エンジニアリング、デザイン・マネジメント等を学ぶことにより、諸技術分野の複合・総合によって特徴付けられる今日の設計を理解する。

[キーワード]

[教科書・参考書] 無し。

授業科目名 : 建築構造デザイン
 科目英訳名 : Structural Design
 担当教官 : (富島 誠司), (田辺 宏志), 吉池 佑一
 単位数 : 4.0 単位
 履修登録コード: T0F4, T0F5
 開講時限等: 4年前期金曜4,5限
 講義室 : 工9号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		1996年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	T2:建築 A	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 建物に想定される荷重外力(地震力・風力等)を決定し、これらの作用によって生じる架構骨組の応力変形を算定して断面を設計する。設計された架構の保有する耐力を求め、荷重外力に勝ることを確認する。

[講義内容] 1. 鉄筋コンクリート構造: 課題説明、架構登録 2. 鉄筋コンクリート構造: 構造計画についての講義、仮定断面提出 3. 鉄筋コンクリート構造: 中間チェック 4. 鉄筋コンクリート構造: 中間チェック 5. 鉄筋コンクリート構造: 中間チェック 6. 鉄筋コンクリート構造: 中間チェック 7. 鉄筋コンクリート構造: 図面チェック 8. 鉄筋コンクリート構造: 講評会 9. 鉄骨構造: 課題説明、架構登録 10. 鉄骨構造: 仮定断面提出 11. 鉄骨構造: 中間チェック 12. 鉄骨構造: 中間チェック 13. 鉄骨構造: 中間チェック 14. 鉄骨構造: 図面チェック 15. 鉄骨構造: 講評会

[キーワード]

[履修条件] 構造系講義を受講しておくことが望ましい。

[教科書・参考書] 構造系講義で用いられた教科書・参考書

授業科目名 : 卒業設計演習
 科目英訳名 : Drill of Graduation Design
 担当教官 : 栗生 明, 柳澤 要
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F3
 開講時限等: 4 年前期月曜 1,2 限
 講義室 : 工 10-412 製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 卒業設計に向けてのさまざまな演習課題を行う。

[講義内容] 調査・分析、プレゼンテーション方法、計画立案方法などの演習課題を行う。

[キーワード]

[履修条件] 建築設計総合指導 IV 及び建築エスキース IV を履修していること。

[教科書・参考書] 特になし

授業科目名 : 卒業論文演習
 科目英訳名 : Thesis study
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T0F6
 開講時限等: 4 年前期水曜 4,5 限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A 専門必修 (F10)	

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 卒業論文に向けての様々な演習課題を行う。

[講義内容] 卒業論文に向けての様々な演習課題を行う。

[キーワード]

授業科目名 : 卒業設計
 科目英訳名 : Graduation Design
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官, 柳澤 要
 単位数 : 4.0 単位
 履修登録コード: T0F8
 開講時限等: 4 年後期木曜 3,4,5 限 / 4 年後期金曜 3,4,5 限
 講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] (記述なし)

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

授業科目名 : 卒業論文
 科目英訳名 : Thesis study
 担当教官 : デ工 (建築系) 全教官
 単位数 : 4.0 単位

開講時限等: 4 年後期木曜 3,4,5 限 / 4 年後期金曜 3,4,5 限

履修登録コード: T0F7

講義室 : 各研究室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1996 年	1995 年
TF4:デザイン A 建築	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	T2:建築 A	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 卒業論文を作成する。

[講義内容] 指導教官より卒業論文を作成するための指導を受ける。

[キーワード]

授業科目名 : 日本工業概論
 科目英訳名 : Introduction to Japanese Industries
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CA
 開講時限等: 2 年前期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	その他 (Z99)	その他 (Z99)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				その他 (Z99)							
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TK2:先進科学プログラムフロンティア	その他 (Z99)										

[授業の方法] 講義

[講義概要] 日本の企業の形態と特徴及び現代日本の工業技術発展の背景について概説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）の発展の経緯とその要因について解説する。

[講義目的] 日本の工業及び工業技術の現状を欧米と比較すると共に第二次世界大戦後、日本企業が目覚ましい発展をすることができた要因を分析し、その強さの秘密や日本企業の特異性等を明らかにすることにより、外国人留学生が日本の企業や工業技術について理解を深め、将来、母国の産業や工業技術の発展に尽くしたり日本の企業で働く場合に役立つことを想定して講義する。

[講義内容] 日本の企業の形態と日本的経営の特徴と現状について解説すると共に主要工業（化学繊維工業、鉄鋼業、造船工業、自動車工業、家庭電子工業、産業用電子工業など）について、各工業の発展の経緯とその要因、背景等について解説する。また、生産コスト、労働生産性、製造技術のレベル及び製品の品質や多様性等について、日本企業の国際競争力の比較を行う。更に、日本企業の技術革新、生産技術と生産現場の合理化、従業員の勤労意識、労務管理等について解説し、日本企業の強さの秘密を明らかにする。なお、講義では、理解を深めるため、ビデオ及び OHP を多用する。

[キーワード]

[履修条件] 特になし。

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料（プリント）を配布する。参考書は、講義中に随時指示する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目（F30）となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位（Z99）となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 工業経営概論
 科目英訳名 : Introduction to Industrial Administration
 担当教官 : 東田 喜輔
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2CB

開講時限等: 2 年後期木曜 5 限
 講義室 : 工 9 号棟 207 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度			
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
TE:都市環境	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	T4:情報 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF1:デザイン A デザイン	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)				T8:画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	その他 (Z99)	その他 (Z99)					TD:画像 B	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TF3:デザイン A メディアデザイン メディアデザイン				その他 (Z99)							
TF4:デザイン A 建築	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TG:電子機械 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH:情報画像 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH1:情報画像 A 情報工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH3:情報画像 A 画像材料工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TH4:情報画像 A 画像システム工学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)					
TK2:先進科学プログラムフロンティア	その他 (Z99)										

[授業の方法] 講義

[講義概要] 日本の工業経営の特徴と工場の経営や管理に必要なと思われる基礎的な知識について解説すると共に経営戦略の策定プロセスや生産管理等の各種管理手法について概説する。

[講義目的] 主に、外国人留学生を対象にして、工場の経営や管理を行う場合に必要となる工業経営に関する基本的な知識や考え方及び日本式経営の特徴等を理解し、工業経営に対して何が重要であるかを認識してもらうことを目的として講義を行う。また、工場の経営者、管理者あるいは彼らのスタッフとして、直面すると思われる採算的意志決定等を合理的に行う基礎的手法や考え方等を身に付けるための演習を行う。

[講義内容] ・工業経営に必要な基礎知識として、経営組織、企業の特質と企業理念・目的・方針等、資本と資産、利益、製造原価及び財務諸表の見方、経営分析等・経営管理の基本理念及び経営戦略・計画・統制 ・日本の経営の特徴・生産管理の体系、工程管理、生産計画 ・品質管理及び統計的品質管理手法・品質保証体制及び製品検査 ・原価管理及び生産の合理化と生産性 ・QC及びTQC活動 ・資材管理、在庫管理等の説明及び演習を行う。

[キーワード]

[履修条件] 特になし

[教科書・参考書] 教科書は、特に指定しない。授業中に資料(プリント)を配布する。参考書は、講義中に適宜紹介する。

[備考] この科目は外国人留学生向けの科目で、留学生の科目区分は専門選択科目(F30)となるが、日本人学生が履修した場合は余剰単位(Z99)となり卒業要件単位とならない。

授業科目名 : 応用数学 I
 科目英訳名 : Advanced Engineering Mathematics I
 担当教官 : (今井 仁司)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T2C9
 開講時限等: 4 年前期集中
 講義室 : 未定 (工学部)

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年
TE:都市環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)
TF1:デザイン A デザイン	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザイン インダストリアルデザ	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)				
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH:情報画像 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH1:情報画像 A 情報工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH3:情報画像 A 画像材料工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TH4:情報画像 A 画像システム工学	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)
TI:物質 A	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI1:物質 A 化学 物質化学	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI2:物質 A 機能 物質機能	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TI3:物質 A 物性 物質物性	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)	その他 (Z99)
TJ1:都市環境 環境	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TJ2:都市環境 メディア メディア	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門選択 (F30)					

学科 コース	入学年度			
	1997 年	1996 年	1995 年	1994 年
T2:建築 A	専門基礎選択 (E30)			
T4:情報 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] 数値計算法の方法のうち、差分法、有限要素法、境界要素法について講義する。

[講義内容] (記述なし)

[キーワード]

[備考] 開講教室、開講日時等の詳細については、教務係窓口付近の掲示板を参照して下さい。開講日：7月30日 (水) ~ 8月2日 (土)

授業科目名 : アルゴリズムの設計と解析
 科目英訳名 : Design of Algorithms and Optimization
 担当教官 : (小林 暁)
 単位数 : 2.0 単位
 履修登録コード: T189

開講時限等: 3 年前期金曜 5 限
 講義室 : 工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						学科 コース	入学年度	
	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		1997 年	1996 年
TF4:デザイン A 建築	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	T2:建築 A	専門選択 (F30)	
TG:電子機械 A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)	TC:電気電子 B		専門選択 (F30)
TK2:先進科学プログラムフロンティア	専門選択 (F30)								

[授業の方法] (記述なし)

[講義概要] (記述なし)

[講義目的] コンピュータソフトウェア、アルゴリズムの重要性、さらにそれらの社会での必要性を解き、データ検索などの基本的なアルゴリズムのほか、いくつかの応用アルゴリズムを講義する。

[講義内容] オリエンテーション。プログラムの基礎。アルゴリズムの計算量。データの検索アルゴリズム。整列アルゴリズム。最適化アルゴリズム。文字列データの照合などに関するアルゴリズム。グラフのアルゴリズム。高度なアルゴリズム。応用アルゴリズム。

[キーワード]